

事務事業評価シート

記載年月	令和6年9月
対象年度	令和 5年度

1 事務事業の概要

事 務 事 業 名				スポーツ推進委員活動事業				事 務 事 業 コー		ド		30460100	
概 要		スポーツ推進委員会が中心となって、地域におけるスポーツ教室及びレクリエーション事業の企画運営並びに地域スポーツ活動の指導助言等を行う。											
総合計画	基本施策	4	スポーツ活動の支援				主 担 当 部 課 名		文化スポーツ部 スポーツタウン推進課				
	施 策	46	スポーツ活動の普及・促進				事 業 類 型		法定事業				
	事業種別	その他の事務事業		事 業 開 始 年 度		昭和47年度 ～		見 直 し の 裁 量		市に事業見直しの裁量あり			
根 拠 法 令 等		スポーツ基本法、府中市スポーツ推進委員に関する規則											
国土強靱化地域計画		該当なし		交付金・補助金等の申請		該当なし		交付金・補助金等の名称					
対 象		スポーツ推進委員、市民（在勤・在学者を含む）、市民団体等											
事 業 目 標		社会環境の変化に伴うスポーツの役割の多様化や、市民のスポーツに対するニーズの変化を捉えたスポーツ振興を図るため、スポーツ推進委員の活動に対する支援を通じて、スポーツ推進体制の強化を図る。											
事 業 内 容		スポーツ推進委員がスポーツ振興のコーディネーターとして、市と協働して、スポーツ教室、レクリエーション事業の企画運営、地域スポーツ活動の指導助言を行う。また、関東スポーツ推進委員研究大会や東京都スポーツ推進委員協議会等にスポーツ推進委員を派遣する。											

2 実施計画・実績(指標)

指標名	基準値 (単位)	事業推移					計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の類型(※)							
① ※数値の比較や推移で評価することがないため指標の設定は行わない	-	計画値	-	-	-	-	-	1	2	3	4	5	6	7	8
	-	実績	-	-	-	-	-	□	□	□	□	□	□	□	□
要因の具体的内容															
		計画値						要因の類型(※)							
		実績						1	2	3	4	5	6	7	8
								□	□	□	□	□	□	□	□
要因の具体的内容															

(※) 要因の類型

- 1 概ね計画通り実施した
2 市民等のニーズが増加し計画を上回った
3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った
4 市民等のニーズが減少し計画を下回った

- 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った
6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった
7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった
8 その他

3 成果(参考情報) 現状分析

	1	2	3	
① 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	1
② 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	1
③ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2

4 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
(事業費)						
当初予算額	4,220,000	3,659,000	4,172,000	4,119,000	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	4,220,000	3,659,000	4,172,000	4,119,000	0	0
予算現額	4,201,000	3,611,000	4,172,000	0	0	0
決算額	3,541,419	3,358,354	3,277,620	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	3,541,419	3,358,354	3,277,620	0	0	0
執行率	84.3%	93.0%	78.6%	0.0%	0.0%	0.0%
(人件費)						
職員数	1.10	1.20	1.70			
職員人件費	8,618,288	9,694,590	13,564,285			
月額制会計年度任用職員数	0	0	0			
月額制会計年度任用職員人件費	0	0	0			
(間接経費)						
間接経費	318,876	286,843	343,766			
総コスト	12,478,583	13,339,787	17,185,671	0	0	0

5 PDCAサイクルの確認と評価・改善の方針

R 4年度実績 (Do)	R 4年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
市のスポーツ振興のコーディネーターとして、スポーツ教室、レクリエーション事業の企画運営、地域スポーツ活動の指導助言を行うとともに、コミスポ協力者等の育成を図った。また、コロナ禍における取組として、自宅で簡単にできるレクリエーションの動画の作成・公開を行ったほか、「広域地区別研修会 第9ブロック」では幹事市として研修会を実施した。 ▼スポーツ推進委員 員数 21人 ▼各種講習会や東京都の研究大会等への委員派遣 派遣回数7件 派遣人数32人	新型コロナウイルス感染症の影響により、事業の実施が難しい状況が続いていたが、予定した事業の多くを実施することができた。昨年度、明星中学校・高等学校と締結した協働協定をもとに、当該校と推進委員が連携して、ポッチャの普及を図ることができた。また、第9ブロック広域地区別研修会では幹事市として、2年ぶりに対面での事業実施を円滑に行うことができ、他市との連携を深めることができた。	


☐ A 重点化・拡大 ☒ B 現状のまま継続 ☐ C 見直し ☐ D 休止・廃止 R 4年度評価に基づく見直し (Action)

R 5年度の具体的な取組（Plan）		R 5年度の方向性（Plan）
市のスポーツ振興のコーディネーターとして、スポーツ教室、レクリエーション事業の企画運営、地域スポーツ活動の指導助言、スポーツ指導者の育成を行う。		スポーツ推進委員の任期替えに伴い、新たな体制となるが、新任委員の育成を図りつつ、各種事業を実施するほか、明星高校との連携した取り組みを継続して進めることにより、ポッチャの普及啓発等を図る。
R 5年度実績（Do）	R 5年度評価（Check）	評価内容 B 現状のまま継続
市のスポーツ振興のコーディネーターとして、各スポーツ教室、レクリエーション事業の企画運営、地域スポーツ活動の指導助言を行うとともに、コミスポ協力者等の育成を図った。また、関東スポーツ推進委員研究大会などに委員派遣を行い、専門性の向上に努めたほか、「広域地区別研修会 第9ブロック」では動画を作成し、発表を行った。 ▼スポーツ推進委員 委員数19人 ▼各種講習会や関東スポーツ推進員研究大会等への委員派遣 派遣回数7件 派遣人数20人	令和4年度に続き、明星中学校・高等学校と締結した協働協定に基づき、当該校と推進委員が連携して、ポッチャの普及を図ることができた。また、2年任期の途中であったが委員数が定員に満たないこと鑑み、委員の追加募集を行ったほか、スポーツ推進委員の認知向上のため、ロゴマークの検討を行った。	


☐ A 重点化・拡大 ☐ B 現状のまま継続 ☐ C 見直し ☐ D 休止・廃止 R 5年度評価に基づく見直し (Action)

R 6年度の具体的な取組 (Plan)	R 6年度の方向性 (Plan)
市のスポーツ振興のコーディネーターとして、スポーツ教室、レクリエーション事業の企画運営、地域スポーツ活動の指導助言、スポーツ指導者の育成を行う。	令和5年度にスポーツ推進委員の追加募集を行い、新任委員4名を迎えたため、新任委員の育成を図りつつ、各種事業を実施するほか、明星高校と連携した取組を継続して進める。 また、ポッチャの普及啓発を行うなかで課題となっていたポッチャ競技の技術習得や向上を図るため、審判講習会等の実施を通じて、各推進委員の専門性を高めるとともに、スポーツ推進委員の活動を広くPRするための方策を引き続き検討していく。

R 7年度における事業の位置付け		事業の位置付けの詳細と今後の方向性	
A 重点化・拡大して継続		B	スポーツ推進委員がスポーツ振興のコーディネーターとして、スポーツ教室、レクリエーション事業の企画運営、地域スポーツ活動の指導助言を行うとともに、講習会を通して府中コミスポ協力者の育成が図られるよう、引き続き、スポーツ推進委員の活動を支援していく。また、スポーツ推進委員が、地域からの情報やニーズを汲み取る、市民と行政とのパイプ役として活動できるように必要な支援を行う。
B 現状のまま継続			
1 大幅な見直しは必要ない（右欄に理由を具体的に記載）			
2 見直しには法令等の改正が必須（右欄に法令等の名称を記載）			
3 現状では見直しが不可能（右欄に理由を具体的に記載）			
C 見直して継続	1 見直し・縮小	1	
	2 他事業との整理・統合		
D 休止・廃止等	1 休止		
	2 廃止		
	3 完了		

6 構成事業一覧

(単位:円)

	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	R 5年度		R 6年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	50	35	05	1627500	スポーツ推進委員活動費	4,068,000	3,190,120	3,990,000
2	01	50	35	05	1631000	負担金 関東スポーツ推進委員研究大会	6,000	6,000	6,000
3	01	50	35	05	1632000	負担金 東京都スポーツ推進委員協議会	88,000	71,500	113,000
4	01	50	35	05	1633000	負担金 第9ブロック研究大会	10,000	10,000	10,000
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							4,172,000	3,277,620	4,119,000

事務事業評価シート

記載年月	令和6年9月
対象年度	令和 5年度

1 事務事業の概要

事務事業名				社会体育指導者育成事業				事務事業コード		30460200	
概要		ジュニアスポーツ指導者及びコミスポ協力者等に対する講習会及び研修会を実施する。									
総合計画	基本施策	4	スポーツ活動の支援				主担当部課名		文化スポーツ部 スポーツタウン推進課		
	施策	46	スポーツ活動の普及・促進				事業類型		任意事業		
	事業種別	その他の事務事業		事業開始年度		～		見直しの裁量		市に事業見直しの裁量あり	
根拠法令等		スポーツ基本法、府中コミスポ協力者登録制度運営要綱									
国土強靱化地域計画		該当なし		交付金・補助金等の申請		該当なし		交付金・補助金等の名称			
対象		市民、コミスポリーダー、ジュニアスポーツ指導者及びスポーツ推進委員他									
事業目標		市民が、生涯を通して、自己の能力・適性、興味・関心などに応じ、主体的にスポーツ文化を豊かに享受することのできるスポーツライフを構築するためには、その先導者となるスポーツ指導者の存在が重要となることから、指導者などの人材の育成を図る。									
事業内容		府中コミスポ協力者登録制度への登録促進を図り、スポーツ指導者の知識や経験に合わせた活動機会を提供するとともに、登録者を対象とした講習会などを実施し、知識や技術の獲得を支援する。									

2 実施計画・実績(指標)

指標名	基準値 (単位)	事業推移					計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
		R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	要因の類型(※)									
① 講習会、研修会の実施回数	6	計画値	6	7	7	8	8	1	2	3	4	5	6	7	8
	回	実 績	1	7	-	-	-	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
要因の具体的内容	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、休止していた各種講習会・研修会を再開できたことから、当初の計画どおりに事業を実施することができた。														
		計画値						要因の類型(※)							
		実 績						☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
要因の具体的内容															

- (※) 要因の類型
- 1 概ね計画通り実施した

2 市民等のニーズが増加し計画を上回った

3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った

4 市民等のニーズが減少し計画を下回った

5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った

6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった

7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった

8 その他

3 成果(参考情報) 現状分析

	1	2	3	
① 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	1
② 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	1
③ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2

4 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
(事業費)						
当 初 予 算 額	426,000	412,000	447,000	400,000	0	0
国 庫 支 出 金	0	0	0	0	0	0
都 支 出 金	0	0	0	0	0	0
市 債	0	0	0	0	0	0
そ の 他	0	0	0	0	0	0
一 般 財 源	426,000	412,000	447,000	400,000	0	0
予 算 現 額	426,000	403,000	447,000	0	0	0
決 算 額	207,750	201,950	293,238	0	0	0
国 庫 支 出 金	0	0	0	0	0	0
都 支 出 金	0	0	0	0	0	0
市 債	0	0	0	0	0	0
そ の 他	0	0	0	0	0	0
一 般 財 源	207,750	201,950	293,238	0	0	0
執 行 率	48.8%	50.1%	65.6%	0.0%	0.0%	0.0%
(人件費)						
職 員 数	0.12	0.12	0.12			
職 員 人 件 費	940,177	969,459	957,479			
月額制会計年度任用職員数	0	0	0			
月額制会計年度任用職員人件費	0	0	0			
(間接経費)						
間 接 経 費	34,786	28,684	24,265			
総コスト	1,182,713	1,200,093	1,274,982	0	0	0

5 PDCAサイクルの確認と評価・改善の方針

R 4年度実績 (Do)	R 4年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
▼ジュニアスポーツ指導者講習会 実施回数1回、延参加者 27人 その他予定していた事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、研修参加者の忌避感などから集合研修等の再開が困難であった事業もあったが、トップチームの協力を連携して実施したオンライン研修会は、スポーツ指導者等の専門性や資質向上の一助となったものと捉えており、市民スポーツの振興につなげることができた。	


☐ A 重点化・拡大 ☒ B 現状のまま継続 ☐ C 見直し ☐ D 休止・廃止 R 4年度評価に基づく見直し (Action)

R 5年度の具体的な取組 (Plan)	R 5年度の方向性 (Plan)
▼ジュニアスポーツ指導者講習会 実施回数 延2回 ▼スポーツ推進委員内部研修会 (兼) コミスポ協力者研修会 実施回数 延1回 ▼スポーツ推進委員障害者スポーツ研修会 実施回数 延3回 ▼市民スポーツ公開講座 実施回数 延1回	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、休止している研修会等の再開を図るとともに、指導者スキルの獲得に結び付けられるよう、引き続きトップチームからの派遣講師による研修会等を実施し、地域のスポーツ指導者等の育成を図る。

R 5年度実績 (Do)	R 5年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
▼ジュニアスポーツ指導者講習会 実施回数 延2回 延51人 ▼市民スポーツ公開講座 実施回数 延1回 23人 ▼コミスポ協力者研修会 実施回数 延1回 20人 ▼スポーツ推進委員内部研修会 実施回数 延2回 延19人 ▼三市交流研修会 実施回数 延1回 13人	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、休止していた各種講習会・研修を再開することができた。様々な研修等を行うことで、スポーツ指導者等の専門性や資質向上の一助となったものと捉えており、市民スポーツの振興につなげることができた。また、スポーツ推進委員の三市交流会を幹事市として実施し、国分寺市・小金井市と交流を深めることができた。	


☐ A 重点化・拡大 ☒ B 現状のまま継続 ☐ C 見直し ☐ D 休止・廃止 R 5年度評価に基づく見直し (Action)

R 6年度の具体的な取組 (Plan)	R 6年度の方向性 (Plan)
▼ジュニアスポーツ指導者講習会 実施回数 延2回 ▼コミスポ協力者研修会 実施回数 延1回 ▼スポーツ推進委員内部研修会 実施回数 延2回	府中コミスポ協力者への登録促進を図るため、登録制度の周知を広く行うとともに、登録者に対しては、スポーツ指導やボランティアの活動機会を提供を図っていく。 また、ジュニアスポーツ指導者、コミスポ協力者、スポーツ推進委員に対して、それぞれの特性に応じた講習会や研修会を実施し、各種知識やスキルを獲得し得る機会を提供し、地域のスポーツ指導者等の育成を図っていく。

R 7年度における事業の位置付け		事業の位置付けの詳細と今後の方向性
A 重点化・拡大して継続	B	引き続き、府中コミスポ協力者制度への登録促進を図り、スポーツ指導者の知識や経験に合わせた活動機会を提供するとともに、登録者を対象とした講習会などを実施し、知識や技術の獲得をサポートしていく。また、ジュニアスポーツ指導者講習会やスポーツ推進委員会内部研修会などを実施し、地域のスポーツ指導者等の育成を図っていく。
B 現状のまま継続	B	
1 大幅な見直しは必要ない (右欄に理由を具体的に記載)	B	
2 見直しには法令等の改正が必須 (右欄に法令等の名称を記載)		
3 現状では見直しが不可能 (右欄に理由を具体的に記載)		
C 見直して継続	1	
D 休止・廃止等	1	
1 見直し・縮小	1	
2 他事業との整理・統合		
3 完了		

6 構成事業一覧

(単位:円)

	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	R 5年度		R 6年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	50	35	10	1636000	社会体育指導者育成事業費	447,000	293,238	400,000
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							447,000	293,238	400,000

事務事業評価シート

記載年月	令和6年9月
対象年度	令和 5年度

1 事務事業の概要

事務事業名		スポーツの生活化推進事業				事務事業コード	30460300
概要		地域において各種スポーツイベントや教室などを開催するほか、地域イベントへの指導者派遣等を行い、スポーツの生活化を図る。					
総合計画	基本施策	4	スポーツ活動の支援		主担当部課名	文化スポーツ部 スポーツタウン推進課	
	施策	46	スポーツ活動の普及・促進		事業類型	任意事業	
	事業種別	その他の事務事業		事業開始年度	～	見直しの裁量	市に事業見直しの裁量あり
根拠法令等		スポーツ基本法、府中市スポーツ指導者派遣要綱他					
国土強靱化地域計画		該当なし	交付金・補助金等の申請	該当なし	交付金・補助金等の名称		
対象		市民（在勤・在学者を含む）、市民団体等					
事業目標		様々な世代を対象としたスポーツ教室の開催のほか、各文化センター圏域における各種スポーツイベントの開催を通じて、日常生活にスポーツの定着を図る。					
事業内容		地域の団体が行う各種行事等への指導者を派遣するとともに、文化センター圏域コミュニティ協議会に地域の実情に即したスポーツ事業の実施を委託。また、スポーツ教室の開催や総合・地域体育館での様々な年代を対象とした各種教室を行う。					

2 実施計画・実績(指標)

指標名	基準値 (単位)	事業推移					計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度									
① 指導者派遣事業の派遣回数	12	計画値	13	14	14	15	15	要因の類型(※)							
								1	2	3	4	5	6	7	8
	回	実 績	7	6	-	-	-	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☒
要因の具体的内容	概ね計画どおり事業は実施できたが、例年同様の既存のイベントへの派遣に留まっており、新規イベントへの派遣が増加していないため、計画値を下回っている。														
		計画値						要因の類型(※)							
								1	2	3	4	5	6	7	8
		実 績						☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
要因の具体的内容															

- (※) 要因の類型
- 1 概ね計画通り実施した

2 市民等のニーズが増加し計画を上回った

3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った

4 市民等のニーズが減少し計画を下回った

5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った

6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった

7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった

8 その他

3 成果(参考情報) 現状分析

	1	2	3	
① 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	1
② 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	1
③ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2

4 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
(事業費)						
当初予算額	18,323,000	14,955,000	14,633,000	14,563,000	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	1,664,000	1,490,000	1,443,000	1,524,000	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	121,000	81,000	81,000	0	0
一般財源	16,659,000	13,344,000	13,109,000	12,958,000	0	0
予算現額	18,293,000	14,864,000	14,633,000	0	0	0
決算額	9,538,966	12,998,538	13,183,757	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	911,000	1,458,000	1,217,000	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	87,000	78,400	0	0	0
一般財源	8,627,966	11,453,538	11,888,357	0	0	0
執行率	52.1%	87.4%	90.1%	0.0%	0.0%	0.0%
(人件費)						
職員数	0.65	0.15	0.15			
職員人件費	5,092,625	1,211,824	1,196,849			
月額制会計年度任用職員数	0	0	0			
月額制会計年度任用職員人件費	0	0	0			
(間接経費)						
間接経費	188,426	35,855	30,332			
総コスト	14,820,017	14,246,217	14,410,938	0	0	0

5 PDCAサイクルの確認と評価・改善の方針

R 4年度実績 (Do)	R 4年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
▼指導者派遣事業 件数 7回 延派遣者数 24人 ▼スポーツの生活化推進事業 文化センターコミュニティ圏域協議会 11団体 ▼スポーツ教室運営事業 実施回数 35回 延参加者数 1,178人 ▼スポーツ活動運営事業 延参加者数 43,434人		コロナ禍に当たる令和2年から3年度までの間は、新型コロナウイルス感染症の影響により、事業の実施が難しい状況が続いていたが、withコロナの視点により、必要な感染症対策を行ったことにより、概ね計画通りに、事業を行うことができた。他方で、指導者派遣事業は指導者派遣を必要とするイベントなどの開催が行われなかったに伴い、実績値が計画値を下回った。



☐ A 重点化・拡大
 ☒ B 現状のまま継続
 ☐ C 見直し
 ☐ D 休止・廃止
 R 4年度評価に基づく見直し (Action)

R 5年度の具体的な取組 (Plan)	R 5年度の方向性 (Plan)
▼指導者派遣事業 件数 11回 ▼スポーツの生活化推進事業 文化センターコミュニティ圏域協議会 11団体 ▼スポーツ教室運営事業 参加者数 延800人 ▼スポーツ活動運営事業 参加者数 延36,300人	withコロナの視点により必要な対策を行うことで、引き続き、定期的にスポーツに親しむ「機会」と「場」を提供し、日常生活へのスポーツ定着を図る。

R 5年度実績 (Do)	R 5年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
▼指導者派遣事業 件数 6回 派遣者人数18人 ▼スポーツの生活化推進事業 文化センター圏域コミュニティ協議会 11団体 ▼スポーツ教室運営事業 実施回数 35回 参加者数 延1,631人 ▼スポーツ活動運営事業 延参加者数 延38,650人		市民が手軽に身近な場所でスポーツに親しめるよう、指導者の派遣や文化センター圏域コミュニティ協議会へ事業委託を行った。 また、各市民スポーツ教室の開催や総合体育館および各地域体育館での様々な年代を対象にした各種教室を行うことで、定期的にスポーツに親しむ「機会」と「場」を提供し、日常生活へのスポーツの定着を図ることができた。そのなかでも、総合体育館では「地域活性化に関する協働協定」を締結した東京女子体育大学と連携した事業を行ったほか、地域体育館（四谷・押立体育館）では空気調和設備設置工事により休室としていた体育室に代えて、会議室を利用したヨガ教室を新たに行うなど、事業の継続性の確保を図った。



☐ A 重点化・拡大
 ☒ B 現状のまま継続
 ☐ C 見直し
 ☐ D 休止・廃止
 R 5年度評価に基づく見直し (Action)

R 6年度の具体的な取組 (Plan)	R 6年度の方向性 (Plan)
▼指導者派遣事業 件数 12回 ▼スポーツの生活化推進事業 文化センター圏域コミュニティ協議会 11団体 ▼スポーツ教室運営事業 参加者数 延1,650人 ▼スポーツ活動運営事業 参加者数 延39,000人	引き続き、日常生活にスポーツを定着させることを図るために、各種事業を着実に実施し、定期的にスポーツに親しむ「機会」と「場」を提供していく。

R 7年度における事業の位置付け		事業の位置付けの詳細と今後の方向性
A 重点化・拡大して継続	B	引き続き、地域の団体が行う各種行事等への指導者を派遣するとともに、様々な世代を対象としたスポーツ教室の開催のほか、各文化センター圏域における各種スポーツイベントの開催を通じて、日常生活にスポーツの定着を図る。
B 現状のまま継続	B	
1 大幅な見直しは必要ない（右欄に理由を具体的に記載）	B	
2 見直しには法令等の改正が必須（右欄に法令等の名称を記載）		
3 現状では見直しが不可能（右欄に理由を具体的に記載）		
C 見直して継続	1	
D 休止・廃止等	1	

6 構成事業一覧

(単位:円)

	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	R 5年度		R 6年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	50	35	10	1637000	スポーツの生活化推進事業費	1,470,000	1,416,177	1,470,000
2	01	50	35	10	1639000	市民スポーツ教室運営費	539,000	353,014	526,000
3	01	50	35	25	1644000	総合体育館スポーツ活動運営費	4,492,000	4,332,873	4,360,000
4	01	50	35	25	1645000	地域体育館スポーツ活動運営費	8,132,000	7,081,693	8,207,000
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							14,633,000	13,183,757	14,563,000

事務事業評価シート

記載年月	令和6年9月
対象年度	令和 5年度

1 事務事業の概要

事務事業名		社会体育奨励事業				事務事業コード	30460400
概要		都民体育大会等への選手派遣のほか、スポーツ活動の支援及び顕彰等を行う。					
総合計画	基本施策	4	スポーツ活動の支援		主担当部課名	文化スポーツ部 スポーツタウン推進課	
	施策	46	スポーツ活動の普及・促進		事業類型	任意事業	
	事業種別	その他の事務事業		事業開始年度	～	見直しの裁量	市に事業見直しの裁量あり
根拠法令等		スポーツ基本法、府中市スポーツ活動奨励事業援助に関する要綱、市民スポーツ賞の顕彰に関する要綱					
国土強靱化地域計画		該当なし	交付金・補助金等の申請	該当なし	交付金・補助金等の名称		
対象		市民、市内スポーツ団体					
事業目標		市民の競技スポーツ振興に関わる事業の実施のほか、国際大会や全国的な大会などで優秀な成績を収めた際に市民等を顕彰することにより、スポーツに対する関心喚起や活動の継続的な活動の支援を図る。					
事業内容		都民体育大会等への市代表選手の派遣等のほか、アスリートの顕彰等を行う。					

2 実施計画・実績(指標)

指標名	基準値 (単位)	事業推移					計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の類型(※)							
① 都民体育大会等への選手派遣数	1,003	計画値	1,009	1,016	1,022	1,028	1,028	1	2	3	4	5	6	7	8
	人	実績	853	818	-	-	-	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☒
要因の具体的内容	計画どおりに各種事業を実施することができたため、参加競技数等はコロナ禍前の水準に戻った。しかしながら、都民体育大会等の全体の参加者数が減少傾向にあり、本市の参加者数も増加していないため、実績値が計画値を下回っている。														
		計画値						1	2	3	4	5	6	7	8
		実績						☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
要因の具体的内容															

- (※) 要因の類型
- 1 概ね計画通り実施した
- 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った
- 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った
- 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った
- 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った
- 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった
- 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった
- 8 その他

3 成果(参考情報) 現状分析

	1	2	3	
① 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	1
② 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	1
③ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2

4 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
(事業費)						
当初予算額	7,815,000	7,789,000	7,113,000	7,710,000	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	7,815,000	7,789,000	7,113,000	7,710,000	0	0
予算現額	7,783,000	7,752,000	7,113,000	0	0	0
決算額	399,916	6,865,049	6,675,070	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	399,916	6,865,049	6,675,070	0	0	0
執行率	5.1%	88.6%	93.8%	0.0%	0.0%	0.0%
(人件費)						
職員数	0.43	0.33	0.33			
職員人件費	3,368,967	2,666,012	2,633,067			
月額制会計年度任用職員数	0	0	0			
月額制会計年度任用職員人件費	0	0	0			
(間接経費)						
間接経費	124,651	78,882	66,731			
総コスト	3,893,534	9,609,943	9,374,868	0	0	0

5 PDCAサイクルの確認と評価・改善の方針

R 4年度実績 (Do)	R 4年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
▼都民体育大会選手派遣 延派遣者数 381人 ▼都民生涯スポーツ大会派遣 延派遣者数 155人 ▼都民スポレクふれあい大会 延派遣者数 65人 ▼市民スポーツの顕彰 顕彰数 個人1人・11団体	コロナ禍に当たる令和2年から令和3年度までの間は、新型コロナウイルス感染症の影響により、事業の実施が難しい状況が続いていたため、派遣事業数や顕彰実績等の減少傾向が続いていたが、多くの事業が再開されたことに伴い、対象となる事業数等が回復傾向となった。	


☐ A 重点化・拡大 ☒ B 現状のまま継続 ☐ C 見直し ☐ D 休止・廃止 R 4年度評価に基づく見直し (Action)

R 5年度の具体的な取組（Plan）		R 5年度の方向性（Plan）	
▼都民体育大会選手派遣 延1回以上 ▼都民生涯スポーツ大会派遣 延1回以上 ▼都民スポレクふれあい大会 延1回以上 ▼市民スポーツの顕彰 延1回以上		都民体育大会等への市代表選手の派遣など、市民の競技スポーツ振興に向けて取り組むほか、国内外のスポーツ競技大会において、優秀な成績を収めた市民及び市内のスポーツ団体に対し、その栄誉をたたえるための顕彰を行う。	
R 5年度実績（Do）		R 5年度評価（Check）	評価内容 B 現状のまま継続
▼都民体育大会 延派遣者数 362人 ▼市町村総合体育大会 延派遣者数 221人 ▼都民生涯スポーツ大会 延派遣者数 174人 ▼都民スポレクふれあい大会 延派遣者数 61人 ▼市民スポーツの顕彰 顕彰数 3団体		概ね計画どおり、都民体育大会等への市代表選手の派遣を行うことができたが、都民体育大会等の全体的な参加者数が近年、減少傾向にあり、本市の参加者数も増加していないことが課題となっているため、主管団体である府中市体育協会と連携して課題への対応を図る必要がある。 また、国内外のスポーツ競技大会において、優秀な成績を収めた市内のスポーツ団体に対し、その栄誉をたたえるための顕彰を行い、市民の競技スポーツ振興を図った。	


☐ A 重点化・拡大 ☒ B 現状のまま継続 ☐ C 見直し ☐ D 休止・廃止 R 5年度評価に基づく見直し (Action)

R 6年度の具体的な取組 (Plan)	R 6年度の方向性 (Plan)
▼都民体育大会選手派遣 延1回以上 ▼市町村総合体育大会派遣 延1回以上 ▼都民生涯スポーツ大会派遣 延1回以上 ▼都民スポレクふれあい大会 延1回以上 ▼市民スポーツの顕彰 延1回以上	府中市体育協会と連携して、都民体育大会等への市代表選手の派遣など、市民の競技スポーツ振興に向けて取り組むほか、今後も継続して、国内外のスポーツ競技大会等において、優秀な成績を収めた市民及び市内のスポーツ団体に対し、その栄誉をたたえるための顕彰を行っていく。

R 7年度における事業の位置付け		事業の位置付けの詳細と今後の方向性
A 重点化・拡大して継続	B	引き続き、市民の競技スポーツ振興に関わる事業の実施のほか、国際大会や全国的な大会などで優秀な成績を収めた際に市民等を顕彰することにより、スポーツに対する関心喚起や活動の継続的な活動の支援を図る。
B 現状のまま継続	B	引き続き、市民の競技スポーツ振興に関わる事業の実施のほか、国際大会や全国的な大会などで優秀な成績を収めた際に市民等を顕彰することにより、スポーツに対する関心喚起や活動の継続的な活動の支援を図る。
1 大幅な見直しは必要ない（右欄に理由を具体的に記載）	B	引き続き、市民の競技スポーツ振興に関わる事業の実施のほか、国際大会や全国的な大会などで優秀な成績を収めた際に市民等を顕彰することにより、スポーツに対する関心喚起や活動の継続的な活動の支援を図る。
2 見直しには法令等の改正が必須（右欄に法令等の名称を記載）		
3 現状では見直しが不可能（右欄に理由を具体的に記載）		
C 見直して継続	1	引き続き、市民の競技スポーツ振興に関わる事業の実施のほか、国際大会や全国的な大会などで優秀な成績を収めた際に市民等を顕彰することにより、スポーツに対する関心喚起や活動の継続的な活動の支援を図る。
D 休止・廃止等	1	引き続き、市民の競技スポーツ振興に関わる事業の実施のほか、国際大会や全国的な大会などで優秀な成績を収めた際に市民等を顕彰することにより、スポーツに対する関心喚起や活動の継続的な活動の支援を図る。

6 構成事業一覧

(単位:円)

	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	R 5年度		R 6年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	50	35	10	1638000	社会体育奨励費	6,583,000	6,155,070	7,180,000
2	01	50	35	10	1646000	負担金 市町村総合体育大会	530,000	520,000	530,000
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							7,113,000	6,675,070	7,710,000

事務事業評価シート

記載年月	令和6年9月
対象年度	令和 5年度

1 事務事業の概要

事務事業名				市民スポーツ大会等運営事業			事務事業コード		30460600		
概要		市民体育大会を始めとするスポーツ大会のほか、ジュニアスポーツ大会、また家族や仲間と気軽に楽しめるスポーツ・レクリエーション事業等を実施する。									
総合計画	基本施策	4	スポーツ活動の支援			主担当部課名		文化スポーツ部 スポーツタウン推進課			
	施策	46	スポーツ活動の普及・促進			事業類型		任意事業			
	事業種別	主要な事務事業		事業開始年度		昭和33年度 ～		見直しの裁量		市に事業見直しの裁量あり	
根拠法令等		スポーツ基本法、市民体育大会開催基準要項他									
国土強靱化地域計画		該当なし		交付金・補助金等の申請		該当なし		交付金・補助金等の名称			
対象		市民（在勤・在学者を含む）									
事業目標		ジュニアからシニアまで、市民がそれぞれのライフステージにあわせて、自主的・自発的にスポーツ活動に親しめる場や機会を創出し、市民のスポーツ活動を促進する。									
事業内容		競技的スポーツの成果発表や気軽に楽しめるスポーツ・レクリエーションの機会等を提供するため、市民スポーツ大会等の実施する。 ・市民体育大会（夏季・秋季・冬季）の実施 ・スポーツ大会として、①小・中学生が対象のジュニアスポーツ大会（軟式野球競技、サッカー競技等）、②壮年層が対象の壮年ソフトボール大会、③高齢者が対象のシニアスポーツ大会還暦野球競技、④市内外のチームも参加可能な府中駅伝競走大会等の実施 ・レクリエーション事業として、ウォーキングイベント等の実施									

2 実施計画・実績(指標)

指標名	基準値 (単位)	事業推移					計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の類型(※)							
① スポーツ大会参加者数	17,500	計画値	17,524	17,549	17,573	17,598	17,598	1	2	3	4	5	6	7	8
	人	実績	15,325	16,843	-	-	-	☐	☐	☐	☐	☒	☐	☐	☐
要因の具体的内容	概ね計画どおりに各種事業を実施することができたことから、昨年度の実績値を上回ったが、計画値を下回っている。コロナ禍前と比べ、団体の廃止に伴い市民体育大会の競技数が減少していることやジュニアスポーツの特定の競技の参加者数が減少していることが一因と考えられる。														
② レクリエーション事業等参加者数(人)	3,000	計画値	3,052	3,104	3,156	3,208	3,208	1	2	3	4	5	6	7	8
	人	実績	2,374	3,658	-	-	-	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
要因の具体的内容	市民スポーツ・レクリエーションフェスティバルなど、計画どおりに各種事業を実施することができたため、実績値が計画値を上回った。														

(※) 要因の類型

- 1 概ね計画通り実施した
- 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った
- 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った
- 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った
- 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った
- 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった
- 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった
- 8 その他

3 成果(参考情報) 現状分析

	1	2	3	
① 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	1
② 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	1
③ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2

4 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
(事業費)						
当初予算額	49,615,000	48,239,000	47,409,000	51,225,000	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	3,000,000	3,000,000	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	294,000	294,000	0	6,400,000	0	0
一般財源	49,321,000	47,945,000	44,409,000	41,825,000	0	0
予算現額	23,032,000	48,370,000	46,289,000	0	0	0
決算額	10,817,727	45,367,328	46,042,699	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	43,156	2,629,000	3,000,000	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	272,000	6,400,000	0	0	0
一般財源	10,774,571	42,466,328	36,642,699	0	0	0
執行率	47.0%	93.8%	99.5%	0.0%	0.0%	0.0%
(人件費)						
職員数	2.80	2.55	2.55			
職員人件費	21,937,460	20,601,004	20,346,427			
月額制会計年度任用職員数	0	0	0			
月額制会計年度任用職員人件費	0	0	0			
(間接経費)						
間接経費	811,684	609,542	515,649			
総コスト	33,566,871	66,577,874	66,904,775	0	0	0

5 PDCAサイクルの確認と評価・改善の方針

R 4年度実績 (Do)	R 4年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
▼市民体育大会(夏季大会 2種目 延参加者数 646人、秋季大会 26種目 延参加者数 11,158人、冬季大会 1種目 延参加者数 103人) ▼スポーツ大会 事業数 2件 延参加者数 285人 ▼ジュニアスポーツ大会 事業数 6件 延参加者数 3,133人 ▼レクリエーション事業 事業数 4件 延参加者数 2,046人 ▼歩いて知ろうわがまち府中! 延参加者数 328人	コロナ禍に当たる令和2年から3年度までの間は、新型コロナウイルス感染症の影響により、事業の実施が難しい状況が続いていたが、withコロナの視点により、必要な感染症対策を行ったことにより、概ね計画通りに、事業を行うことができた。	


☐ A 重点化・拡大 ☒ B 現状のまま継続 ☐ C 見直し ☐ D 休止・廃止 R 4年度評価に基づく見直し (Action)

R 5年度の具体的な取組 (Plan)	R 5年度の方向性 (Plan)
▼市民体育大会(夏季大会 2種目、秋季大会 26種目、冬季大会 1種目) ▼スポーツ大会 事業数 3件 ▼ジュニアスポーツ大会 事業数 6件 ▼レクリエーション事業 事業数 5件 ▼歩いて知ろうわがまち府中! 1件	withコロナの視点により、引き続き必要な感染症対策を実施し、計画的な事業の実施に努めるとともに、コロナ禍に一時的に中止等となった事業の式典を中心に振り返りを行い、事業の見直しに向けた検討を行う。

R 5年度実績 (Do)	R 5年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
▼市民体育大会(夏季大会 2種目 延参加者数508人、秋季大会 25種目 延参加者数11,640人、冬季大会 1種目 延参加者数101人) ▼府中駅伝競走大会ほかスポーツ大会 事業数 3件 延参加者数 1,560人 ▼ジュニアスポーツ大会 事業数 6件 延参加者数 3,034人 ▼市民スポーツ・レクリエーションフェスティバルほかレクリエーション事業 事業数 5件 延参加者数 2,569人 ▼歩いて知ろうわがまち府中! 1件 延参加者数 1,089人	令和5年5月に新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置づけが変わり、計画どおりに事業を実施することができた。 また、市民体育大会と市民スポーツ・レクリエーションフェスティバルにおいては、コロナ禍を契機とした事業の見直しに取り組み、式典の簡素化等を行うことで、事業協力者や協力団体等の負担軽減を図ることができた。	


☐ A 重点化・拡大 ☒ B 現状のまま継続 ☐ C 見直し ☐ D 休止・廃止 R 5年度評価に基づく見直し (Action)

R 6年度の具体的な取組 (Plan)	R 6年度の方向性 (Plan)
▼市民体育大会(夏季大会 2種目、秋季大会 26種目、冬季大会 1種目) ▼府中駅伝競走大会ほかスポーツ大会 事業数 3件 ▼ジュニアスポーツ大会 事業数 6件 ▼市民スポーツ・レクリエーションフェスティバルほかレクリエーション事業 事業数 5件 ▼歩いて知ろうわがまち府中! 1件	引き続き、府中市体育協会などの関係団体と連携して、計画的な事業の実施に努め、ジュニアからシニアまで、市民がそれぞれのライフステージに合わせて、自主的・自発的にスポーツ活動に親しめる場や機会を提供し、市民のスポーツ活動を促進していく。

R 7年度における事業の位置付け		事業の位置付けの詳細と今後の方向性
A 重点化・拡大して継続	B	引き続き、市民の競技的スポーツ活動に対して、日頃の活動発表の場とスポーツを通じた地域交流の場として、ジュニアからシニアにわたる幅広い年代を対象とした各種スポーツ大会を開催していく。また、親子や家族が気軽にスポーツをすることの喜びや楽しさを体験できる、スポーツ・レクリエーションを開催していく。
B 現状のまま継続	B	
1 大幅な見直しは必要ない(右欄に理由を具体的に記載)	B	
2 見直しには法令等の改正が必須(右欄に法令等の名称を記載)		
3 現状では見直しが不可能(右欄に理由を具体的に記載)		
C 見直して継続	1	
D 休止・廃止等	1	
1 見直し・縮小	1	
2 他事業との整理・統合		
3 完了		

6 構成事業一覧

(単位:円)

	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	R 5年度		R 6年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	50	35	10	1640000	市民体育大会運営費	25,630,000	24,733,974	25,483,000
2	01	50	35	10	1641000	スポーツ大会運営費	17,126,000	17,050,252	21,497,000
3	01	50	35	10	1642000	レクリエーション事業運営費	2,517,000	2,129,222	2,146,000
4	01	50	35	10	1643100	歩いて知ろうわがまち府中運営費	2,136,000	2,129,251	2,099,000
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							47,409,000	46,042,699	51,225,000

事務事業評価シート

記載年月	令和6年9月
対象年度	令和 5年度

1 事務事業の概要

事務事業名		スポーツ振興活動支援事業					事務事業コード		30460700
概要		市内のスポーツ団体などが実施する事業やジュニアスポーツ活動等に対して、補助金の交付による財政援助及びその他の必要な支援を行う。							
総合計画	基本施策	4	スポーツ活動の支援			主担当部課名		文化スポーツ部 スポーツタウン推進課	
	施策	46	スポーツ活動の普及・促進			事業類型		任意事業	
	事業種別	その他の事務事業		事業開始年度		昭和52年度 ～		見直しの裁量	
根拠法令等		スポーツ基本法、府中市補助金等交付規則、体育団体活動事業補助金交付要綱 等							
国土強靱化地域計画		該当なし	交付金・補助金等の申請		該当なし	交付金・補助金等の名称			
対象		府中市体育協会に加盟している団体、府中市体育協会加盟団体に準じる団体、ジュニアスポーツ団体、部活動を除く高校生以下の個人と団体							
事業目標		府中市体育協会加盟競技団体などが実施する事業や、ジュニアスポーツ活動、市民及び市内で日常活動しているスポーツクラブや個人が、全国大会、関東大会に出場する際の経費に対して、必要な支援を行うことにより、市内のスポーツ活動の機会拡充を促進する。							
事業内容		▼府中市体育協会に加盟している団体、または府中市体育協会加盟団体に準ずる団体の実施事業に対する補助（体育団体活動事業）。 ▼全国・関東大会に出場する、部活動を除く高校生以下の市内個人・団体に対する補助（全国大会等出場者）。 ▼市内に在住する小・中学生のクラブ員1名以上の健全育成のために、継続的、計画的かつ民主的な運営をされている成人団体の活動経費に対する補助（ジュニア活動事業）。							

2 実施計画・実績(指標)

指標名	基準値 (単位)	事業推移					計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の類型(※)							
① 体育団体活動事業補助金交付事業参加人数	13,310	計画値	13,393	13,476	13,560	13,643	13,643	1	2	3	4	5	6	7	8
	人	実績	12,454	13,901	-	-	-	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
要因の具体的内容	事業の中止等も少なく各団体が主体的に行う各種事業等が実施されたことから、概ね計画どおりに支援を行うことができたため、実績値が計画値を上回った。														
② ジュニアスポーツ活動事業補助金交付団体会員数	3,380	計画値	3,401	3,422	3,443	3,465	3,465	1	2	3	4	5	6	7	8
	人	実績	2,819	2,927	-	-	-	☒	☐	☐	☒	☐	☐	☐	☒
要因の具体的内容	交付団体数はほぼ横ばいだが、交付団体会員数は児童数の減少や習い事の多様化などが進み、コロナ禍前に比べ減少しており、実績値が計画値を下回った。														

(※) 要因の類型	1 概ね計画通り実施した	5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った
	2 市民等のニーズが増加し計画を上回った	6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった
	3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った	7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった
	4 市民等のニーズが減少し計画を下回った	8 その他

3 成果(参考情報) 現状分析

	1	2	3	
① 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	1
② 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	1
③ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2

4 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
(事業費)						
当初予算額	5,152,000	5,019,000	5,150,000	5,129,000	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	600,000	0	0
一般財源	5,152,000	5,019,000	5,150,000	4,529,000	0	0
予算現額	5,152,000	5,019,000	5,662,000	0	0	0
決算額	3,621,235	4,554,881	5,606,196	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	100,000	0	0	0	0
一般財源	3,621,235	4,454,881	5,606,196	0	0	0
執行率	70.3%	90.8%	99.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(人件費)						
職員数	0.70	0.45	0.45			
職員人件費	5,484,365	3,635,471	3,590,546			
月額制会計年度任用職員数	0	0	0			
月額制会計年度任用職員人件費	0	0	0			
(間接経費)						
間接経費	202,921	107,565	90,996			
総コスト	9,308,521	8,297,917	9,287,738	0	0	0

5 PDCAサイクルの確認と評価・改善の方針

R 4年度実績 (Do)	R 4年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
▼体育団体活動事業費補助 対象団体数 27団体 (体育協会加盟団体19団体、ジュニアスポーツ団体5団体、その他スポーツ団体3団体) ▼スポーツ大会参加補助 対象件数 7件 (全国大会出場3件、関東大会出場4件) ▼ジュニアスポーツ活動事業費補助 対象団体数 85団体	新型コロナウイルス感染症の影響により、従来対象としていた事業のうち実施されなかった事業があったが、再開した事業も多くあったため、必要な支援等を行うことができた。	


☐ A 重点化・拡大 ☒ B 現状のまま継続 ☐ C 見直し ☐ D 休止・廃止 R 4年度評価に基づく見直し (Action)

R 5年度の具体的な取組（Plan）		R 5年度の方向性（Plan）
▼体育団体活動事業費補助 対象団体数 28団体（体育協会加盟団体20団体、ジュニアスポーツ団体5団体、その他スポーツ団体3団体） ▼スポーツ大会参加補助 対象件数 20件（全国大会出場10件、関東大会出場10件） ▼ジュニアスポーツ活動事業費補助 対象団体数 87団体		各スポーツ団体等や市民のスポーツ活動に必要な支援を行うことにより、市内のスポーツ活動の普及促進を図る。
R 5年度実績（Do）	R 5年度評価（Check）	評価内容 B 現状のまま継続
▼体育団体活動事業費補助 対象団体数 30団体（体育協会加盟団体22団体、ジュニアスポーツ団体3団体、その他スポーツ団体5団体） ▼スポーツ大会参加補助 対象件数 19件（全国大会出場13件、関東大会出場6件） ▼ジュニアスポーツ活動事業費補助 対象団体数 85団体	各スポーツ団体の事業やジュニアスポーツ活動、また市民のスポーツ活動に必要な支援を行うことにより、市内のスポーツ活動の機会拡充を促進することができた。	


☐ A 重点化・拡大 ☒ B 現状のまま継続 ☐ C 見直し ☐ D 休止・廃止 R 5年度評価に基づく見直し (Action)

R 6年度の具体的な取組 (Plan)	R 6年度の方向性 (Plan)
▼体育団体活動事業費補助 対象団体数 30団体 (体育協会加盟団体22団体、ジュニアスポーツ団体3団体、その他スポーツ団体5団体) ▼スポーツ大会参加補助 対象件数 20件 (全国大会出場10件、関東大会出場10件) ▼ジュニアスポーツ活動事業費補助 対象団体数 85団体	引き続き、各スポーツ団体等や市民のスポーツ活動に必要な支援を行うことにより、市内のスポーツ活動の普及促進を図っていく。

R 7年度における事業の位置付け		事業の位置付けの詳細と今後の方向性
A 重点化・拡大して継続	B	引き続き、府中市体育協会加盟競技団体などが実施する事業や、ジュニアスポーツ活動、市民及び市内で日常活動しているスポーツクラブや個人が、全国大会、関東大会に出場する際の経費に対して、必要な支援を行うことにより、市内のスポーツ活動の機会拡充を促進していく。
B 現状のまま継続	B	引き続き、府中市体育協会加盟競技団体などが実施する事業や、ジュニアスポーツ活動、市民及び市内で日常活動しているスポーツクラブや個人が、全国大会、関東大会に出場する際の経費に対して、必要な支援を行うことにより、市内のスポーツ活動の機会拡充を促進していく。
1 大幅な見直しは必要ない (右欄に理由を具体的に記載)	B	引き続き、府中市体育協会加盟競技団体などが実施する事業や、ジュニアスポーツ活動、市民及び市内で日常活動しているスポーツクラブや個人が、全国大会、関東大会に出場する際の経費に対して、必要な支援を行うことにより、市内のスポーツ活動の機会拡充を促進していく。
2 見直しには法令等の改正が必須 (右欄に法令等の名称を記載)		
3 現状では見直しが不可能 (右欄に理由を具体的に記載)		
C 見直して継続	1	引き続き、府中市体育協会加盟競技団体などが実施する事業や、ジュニアスポーツ活動、市民及び市内で日常活動しているスポーツクラブや個人が、全国大会、関東大会に出場する際の経費に対して、必要な支援を行うことにより、市内のスポーツ活動の機会拡充を促進していく。
D 休止・廃止等	1	引き続き、府中市体育協会加盟競技団体などが実施する事業や、ジュニアスポーツ活動、市民及び市内で日常活動しているスポーツクラブや個人が、全国大会、関東大会に出場する際の経費に対して、必要な支援を行うことにより、市内のスポーツ活動の機会拡充を促進していく。

6 構成事業一覧

(単位:円)

	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	R 5年度		R 6年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	50	35	10	1647000	補助金 体育団体活動事業費	2,242,000	2,211,191	2,242,000
2	01	50	35	10	1648000	補助金 スポーツ大会参加	840,000	1,327,005	840,000
3	01	50	35	10	1649000	補助金 ジュニアスポーツ活動事業費	2,068,000	2,068,000	2,047,000
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							5,150,000	5,606,196	5,129,000

事務事業評価シート

記載年月	令和6年9月
対象年度	令和 5年度

1 事務事業の概要

事務事業名		スポーツタウン府中発展事業				事務事業コード	30460800
概要		スポーツに対する興味関心を喚起する機会の提供等を行う。					
総合計画	基本施策	4	スポーツ活動の支援		主担当部課名	文化スポーツ部 スポーツタウン推進課	
	施策	46	スポーツ活動の普及・促進		事業類型	任意事業	
	事業種別	その他の事務事業		事業開始年度	令和 4年度 ～	見直しの裁量	市に事業見直しの裁量あり
根拠法令等		スポーツ基本法					
国土強靱化地域計画		該当なし	交付金・補助金等の申請	該当なし	交付金・補助金等の名称		
対象		市民（市外を含む）、市民団体、民間事業者、トップチーム、市職員など					
事業目標		「スポーツタウン府中」のPRのほか、ライフステージやライフスタイルの変化によってスポーツ活動を断念することなく、市民の誰もがそれぞれの体力や能力・年齢・目的に応じ、いつでも、どこでも、いつまでも、スポーツを楽しむことができる機会を提供する。					
事業内容		「第2次府中市スポーツ推進計画」の基本理念である「スポーツタウン府中の発展」に向けて、女性のスポーツ機会促進イベント（ヨガイベント）の開催など、スポーツに対する関心を喚起するための取組を行う。					

2 実施計画・実績(指標)

指標名	基準値 (単位)	事業推移					計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の類型(※)							
① スポーツ実施率	60.8	計画値	61.1	61.4	61.6	61.9	61.9	1	2	3	4	5	6	7	8
	%	実績	59.4	50.1	-	-	-	☐	☐	☐	☒	☒	☐	☐	☒
要因の具体的内容	スポーツ実施率は全国的に低下傾向にあり、年代別では20代～50代の働く世代（特に女性）が低く、その主な理由としては「仕事や家事が多忙であるため」となっている。														
		計画値						要因の類型(※)							
		実績						1	2	3	4	5	6	7	8
								☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
要因の具体的内容															

(※) 要因の類型

- 1 概ね計画通り実施した
- 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った
- 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った
- 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った
- 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った
- 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった
- 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった
- 8 その他

3 成果(参考情報) 現状分析

	1	2	3	
① 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	1
② 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	1
③ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	1

4 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
(事業費)						
当初予算額	0	4,268,000	7,088,000	8,688,000	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	3,100,000	0	0
一般財源	0	4,268,000	7,088,000	5,588,000	0	0
予算現額	0	5,313,000	7,468,000	0	0	0
決算額	0	3,855,219	6,112,417	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	0	3,855,219	6,112,417	0	0	0
執行率	0.0%	72.6%	81.8%	0.0%	0.0%	0.0%
(人件費)						
職員数	0.00	1.98	2.48			
職員人件費	0	15,996,074	19,787,898			
月額制会計年度任用職員数	0	0	0			
月額制会計年度任用職員人件費	0	0	0			
(間接経費)						
間接経費	0	473,291	501,494			
総コスト	0	20,324,584	26,401,809	0	0	0

5 PDCAサイクルの確認と評価・改善の方針

R 4年度実績 (Do)	R 4年度評価 (Check)	評価内容
▼スポーツタウン府中啓発グッズ及びP R動画の制作 ▼女性のスポーツ機会促進イベント (ヨガイイベント) の開催 実施回数3回 延参加者 130人 ▼野球オーストラリア代表キャンプ関連事業 (交流イベントの開催他) 実施回数5回 延参加者 2,320人		屋外用バナーフラッグやのぼり、横断幕の掲示により、可視的にスポーツタウン府中にふれる機会を創出したほか、スポーツを知る・考えるきっかけとなるような周知啓発チラシを公立小中学校に配布することによって、スポーツを考えるきっかけを創出した。また、スポーツを中断・断念しやすい子育て世代の女性をターゲットにした事業を実施することで、継続的にスポーツの実施を促す機会を創出することができた。このほか、野球オーストラリア代表キャンプを受け入れ、公開練習などの交流イベントの開催を通じて、国内外・市内外にスポーツタウン府中の魅力を発信することができた。


☒ A 重点化・拡大 ☐ B 現状のまま継続 ☐ C 見直し ☐ D 休止・廃止 R 4年度評価に基づく見直し (Action)

R 5年度の具体的な取組 (Plan)	R 5年度の方向性 (Plan)
▼スポーツタウン府中啓発グッズ及びP R動画の制作 ▼女性のスポーツ機会促進イベント (ヨガイイベント) の開催 実施回数 延3回 ▼スポーツタウン府中推進月間の創設 ▼東京都主催「自転車ロードレース (多摩地域)」の開催協力 ▼専用SNSアカウントによる情報発信	令和4年度の事業に加え、よりスポーツにふれる機会を増やす仕組みづくりや、SNS等の情報発信媒体も強化しつつ、効果的なP R方法を検討し、実施していく。 また、東京都主催「自転車ロードレース (多摩地域)」の開催に当たっては、スポーツタウン府中の魅力を市内外に発信するとともに、大会気運醸成を図る。

R 5年度実績 (Do)	R 5年度評価 (Check)	評価内容
▼スポーツタウン府中啓発グッズ及びP R動画 (選手コメント動画等) の制作 ▼女性のスポーツ機会促進イベント (ヨガイイベント) の開催 実施回数 3回 参加者 延122人 ▼スポーツタウン府中推進月間の創設 (スタンプラリー及びパネル展示) 実施時期 10月 参加者 延2,000人 ▼自転車ロードレース「THE ROAD RACE TOKYO TAMA 2023」の開催協力 (運営ボランティア募集、大会PRパネル展示ほか広報協力) ▼女子野球大会の開催等 (女子野球タウン認定1周年セレモニー、関東女子硬式野球「ヴィーナスリーグ」、女子野球タウン府中杯ほか) ▼その他 専用SNS (X) アカウント (R5.4開設) による情報発信など		計画通り着実に事業を実施することができた。 スポーツタウン府中推進月間の創設や、新たに開設したSNSアカウントを活用した情報発信により、「スポーツタウン府中」をより広くP Rするとともに、スポーツを「する」「みる」「しる」きっかけを創出したほか、自転車ロードレースの開催にあたっては、運営主体である東京都と連携し、ボランティア募集や広報協力を行うなど、大会の円滑な実施につなげることができた。 また、女子野球のトップリーグの一つである「ヴィーナスリーグ」の開催を誘致したほか、女子中学生軟式野球大会を開催するなど、女子野球の普及を通じた地域の活性化や女性活躍の推進を図ることができた。 スポーツに馴染みのない市民に対する啓発という観点では、より効果的な事業展開やP R手法について検討していく余地がある。


☒ A 重点化・拡大 ☐ B 現状のまま継続 ☐ C 見直し ☐ D 休止・廃止 R 5年度評価に基づく見直し (Action)

R 6年度の具体的な取組 (Plan)	R 6年度の方向性 (Plan)
▼スポーツタウン府中啓発グッズの制作 ▼女性のスポーツ機会促進イベント (ヨガイイベント) の開催 実施予定数 3回 ▼スポーツタウン府中推進月間の開催 ▼専用SNSアカウントによる情報発信 ▼世界的スポーツ大会の開催機会を捉えた事前キャンプの受入れや交流イベントの実施 ▼東京2020オリンピックのレガシーとして自転車ロードレースコース上ヘルートマーカーを設置 ▼女子野球大会等の開催 (ヴィーナスリーグ、女子野球タウン府中杯)	従前から実施している事業を継続して実施するほか、市民がスポーツに触れる機会をより充実できるよう、スポーツタウン府中推進月間をはじめ、各イベント等の内容や効果的なP R方法について検討し、実施していく。 また、世界的スポーツ大会の開催機会を捉え、事前キャンプの受入れや交流イベントの実施等、スポーツの気運醸成のための取組を進める。

R 7年度における事業の位置付け		事業の位置付けの詳細と今後の方向性
A 重点化・拡大して継続 B 現状のまま継続	1 大幅な見直しは必要ない (右欄に理由を具体的に記載)	第2次府中市スポーツ推進計画の基本理念である「スポーツタウン府中の発展」に向け、当該計画の全体目標であるスポーツ実施率の向上を図るため、引き続き、「スポーツタウン府中」を市内外に広くP Rする取組を進めるとともに、スポーツ活動を行っていない方がスポーツに親しむきっかけづくりや、ライフステージの変化によってスポーツ活動を断念することなく、日常的・継続的にスポーツに関わることを意識してもらえるような取組を推進する。
	2 見直しには法令等の改正が必須 (右欄に法令等の名称を記載)	
	3 現状では見直しが不可能 (右欄に理由を具体的に記載)	
C 見直して継続	1 見直し・縮小	1
	2 他事業との整理・統合	
D 休止・廃止等	1 休止	
	2 廃止	
	3 完了	

6 構成事業一覧

(単位:円)

	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	R 5年度		R 6年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	50	35	10	1643120	スポーツタウン府中発展事業費	4,103,000	3,391,569	6,573,000
2	01	50	35	10	1643140	女子野球タウン推進事業費	2,985,000	2,720,848	2,115,000
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							7,088,000	6,112,417	8,688,000

事務事業評価シート

記載年月	令和6年9月
対象年度	令和 5年度

1 事務事業の概要

事務事業名		パラスポーツ普及啓発事業				事務事業コード	30460900
概要		障害者スポーツ（パラスポーツ）への理解促進や興味関心を喚起する機会の提供等を行う。					
総合計画	基本施策	4	スポーツ活動の支援		主 担 当 部 課 名	文化スポーツ部 スポーツタウン推進課	
	施 策	46	スポーツ活動の普及・促進		事 業 類 型	任意事業	
	事業種別	その他の事務事業		事業開始年度	令和 4年度 ～	見 直 し の 裁 量	市に事業見直しの裁量あり
根 拠 法 令 等		スポーツ基本法					
国土強靱化地域計画		該当なし	交付金・補助金等の申請	該当なし	交付金・補助金等の名称		
対 象		市民、市民団体（在勤・在学を含む）、民間事業者など					
事業目標		障害の有無にかかわらず、市民が共にスポーツを楽しむことができるよう、障害者スポーツの理解促進や環境づくりに取り組むとともに、東京2020大会のレガシーとして、パラスポーツの普及を図る。					
事業内容		東京2020大会が開催されたことでパラスポーツの認知度も向上していることから、国際大会の成果をレガシーとして引き継ぎ、市民に幅広くPRするとともに、ボッチャをはじめとする各競技の特徴を捉え、その普及に向けて、パラリンピアンをはじめとするアスリート等と連携したパラスポーツ体験会その他の取組を行う。					

2 実施計画・実績(指標)

指標名	基準値 (単位)	事業推移					計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度									
① 障害者スポーツに関わった市民の割合	7.1	計画値	7.4	7.8	8.1	8.5	8.5	要因の類型(※)							
								1	2	3	4	5	6	7	8
	%	実 績	6.6	9.4	-	-	-	☐	☒	☒	☐	☐	☐	☐	☒
要因の具体的内容	障害者スポーツとの関わりに関する調査項目「実際に行った」「観戦した」「支える活動を行った」の全ての項目で前年度から増加しており、中心市街地での体験イベントの実施や継続的なボッチャ教室の開催などが要因の一つとなったものと考えられる。														
		計画値						要因の類型(※)							
								1	2	3	4	5	6	7	8
		実 績						☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
要因の具体的内容															

- (※) 要因の類型
- 1 概ね計画通り実施した

2 市民等のニーズが増加し計画を上回った

3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った

4 市民等のニーズが減少し計画を下回った

5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った

6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった

7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった

8 その他

3 成果(参考情報) 現状分析

	1	2	3	
① 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	1
② 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	1
③ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2

4 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
(事業費)						
当 初 予 算 額	0	2,000,000	1,910,000	5,733,000	0	0
国 庫 支 出 金	0	0	0	0	0	0
都 支 出 金	0	0	950,000	1,000,000	0	0
市 債	0	0	0	0	0	0
そ の 他	0	0	0	2,800,000	0	0
一 般 財 源	0	2,000,000	960,000	1,933,000	0	0
予 算 現 額	0	2,000,000	1,910,000	0	0	0
決 算 額	0	1,990,783	1,859,166	0	0	0
国 庫 支 出 金	0	0	0	0	0	0
都 支 出 金	0	385,000	927,000	0	0	0
市 債	0	0	0	0	0	0
そ の 他	0	0	0	0	0	0
一 般 財 源	0	1,605,783	932,166	0	0	0
執 行 率	0.0%	99.5%	97.3%	0.0%	0.0%	0.0%
(人件費)						
職 員 数	0.00	0.88	1.38			
職 員 人 件 費	0	7,109,366	11,011,008			
月額制会計年度任用職員数	0	0	0			
月額制会計年度任用職員人件費	0	0	0			
(間接経費)						
間 接 経 費	0	210,351	279,057			
総コスト	0	9,310,500	13,149,231	0	0	0

5 PDCAサイクルの確認と評価・改善の方針

R 4年度実績 (Do)	R 4年度評価 (Check)	評価内容
▼パラスポーツの体験事業・出前講座等（スポーツ推進委員関係） 実施回数 9回 延参加者 2,212人 ▼パラスポーツの体験事業・講習会等（あすチャレ！運動会他） 実施回数 4回、延参加者 380人 ▼ボッチャ大会 実施回数 1回 延参加者 152人		関係課（障害福祉部門）や関係団体と連携し、障害者スポーツ（パラスポーツ）の魅力幅広くPRするとともに、パラスポーツの魅力を体験できるイベント（体験型・啓発型の事業）の実施を通じて、障害者スポーツ普及啓発を図ることができた。



☐ A 重点化・拡大 ☒ B 現状のまま継続 ☐ C 見直し ☐ D 休止・廃止 R 4年度評価に基づく見直し (Action)

R 5年度の具体的な取組 (Plan)	R 5年度の方向性 (Plan)
▼パラスポーツの体験事業・出前講座等（スポーツ推進委員関係） 実施回数 延4回 ▼パラスポーツの体験事業・講習会等（あすチャレ！運動会他） 実施回数 延4回 ▼ボッチャ大会 実施回数 延1回	引き続きボッチャを中心に、障害者スポーツ（パラスポーツ）の普及啓発を図るため、パラアスリートや日本財団パラスポーツサポートセンターと連携した体験型イベントなどの開催を通じて障害者スポーツ（パラスポーツ）への理解促進や環境づくりを進める。

R 5年度実績 (Do)	R 5年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
▼パラスポーツの体験事業・出前講座等（スポーツ推進委員関係） 実施回数 9回 参加者 延2,228人 ▼パラスポーツの体験事業・講習会等（あすチャレ！運動会他） 実施回数 4回 参加者 延1,210人 ▼ボッチャ大会 実施回数 1回 参加者 123人 ▼デフバドミントン交流会 実施回数 1回 参加者 30人		計画通り着実に事業を実施することができた。 障害福祉部門の関係課ほか関係団体と連携して、中心市街地を会場とした体験イベント等を開催したほか、継続的なボッチャの普及啓発事業の実施、参加しやすく興味を引きやすい体験競技の選定などにより、障害者スポーツ（パラスポーツ）について広くPRすることができた。 また、東京2025デフリンピックに向けて、デフスポーツの競技団体と協力し、デフバドミントンの体験・交流事業を実施した。 イベント等への参加者数は前年度より大きく増えており、効果的な事業展開やPRができていていると考えられる。



☒ A 重点化・拡大 ☐ B 現状のまま継続 ☐ C 見直し ☐ D 休止・廃止 R 5年度評価に基づく見直し (Action)

R 6年度の具体的な取組 (Plan)	R 6年度の方向性 (Plan)
▼パラスポーツの体験事業・出前講座等（スポーツ推進委員関係） 実施予定数 4回 ▼パラスポーツの体験事業・講習会等（あすチャレ！運動会他） 実施予定数 4回 ▼ボッチャ大会 実施予定数 1回 ▼東京2025デフリンピックに向けた気運醸成のための取組の実施（デフスポーツ体験イベント、合宿の受入れ、開催1年前記念事業など）	従前から実施している事業を継続して実施するほか、令和6年度に策定した東京2025デフリンピックの開催に向けて関係課とも連携し、大会開催1年前記念事業の実施や、競技団体の合宿受入れなど、大会気運の醸成や障害当事者の理解促進のための取組を進める。

R 7年度における事業の位置付け		事業の位置付けの詳細と今後の方向性
A 重点化・拡大して継続	B	第2次府中市スポーツ推進計画の基本目標の一つである「多様な主体を対象としたスポーツ活動機会の充実」に向け、引き続き、東京2020大会のレガシーを活かしたパラリンピック競技を中心とした障害者スポーツの普及啓発を図るほか、東京2025デフリンピックの開催を契機として、デフスポーツをはじめとする障害者スポーツ全体の普及啓発につなげていく。
B 現状のまま継続	B	第2次府中市スポーツ推進計画の基本目標の一つである「多様な主体を対象としたスポーツ活動機会の充実」に向け、引き続き、東京2020大会のレガシーを活かしたパラリンピック競技を中心とした障害者スポーツの普及啓発を図るほか、東京2025デフリンピックの開催を契機として、デフスポーツをはじめとする障害者スポーツ全体の普及啓発につなげていく。
1 大幅な見直しは必要ない（右欄に理由を具体的に記載）	B	第2次府中市スポーツ推進計画の基本目標の一つである「多様な主体を対象としたスポーツ活動機会の充実」に向け、引き続き、東京2020大会のレガシーを活かしたパラリンピック競技を中心とした障害者スポーツの普及啓発を図るほか、東京2025デフリンピックの開催を契機として、デフスポーツをはじめとする障害者スポーツ全体の普及啓発につなげていく。
2 見直しには法令等の改正が必須（右欄に法令等の名称を記載）		
3 現状では見直しが不可能（右欄に理由を具体的に記載）		
C 見直して継続	1	第2次府中市スポーツ推進計画の基本目標の一つである「多様な主体を対象としたスポーツ活動機会の充実」に向け、引き続き、東京2020大会のレガシーを活かしたパラリンピック競技を中心とした障害者スポーツの普及啓発を図るほか、東京2025デフリンピックの開催を契機として、デフスポーツをはじめとする障害者スポーツ全体の普及啓発につなげていく。
D 休止・廃止等	1	第2次府中市スポーツ推進計画の基本目標の一つである「多様な主体を対象としたスポーツ活動機会の充実」に向け、引き続き、東京2020大会のレガシーを活かしたパラリンピック競技を中心とした障害者スポーツの普及啓発を図るほか、東京2025デフリンピックの開催を契機として、デフスポーツをはじめとする障害者スポーツ全体の普及啓発につなげていく。

6 構成事業一覧

(単位:円)

	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	R 5年度		R 6年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	50	35	10	1633500	負担金 東京都市町村ボッチャ大会	10,000	3,909	20,000
2	01	50	35	10	1643130	パラスポーツ普及啓発事業費	1,900,000	1,855,257	5,713,000
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							1,910,000	1,859,166	5,733,000

事務事業評価シート

記載年月	令和6年9月
対象年度	令和 5年度

1 事務事業の概要

事務事業名		学校開放運営事業				事務事業コード	30461000
概要		市民が身近な場所でスポーツ活動が行えるよう、学校教育上支障のない範囲で、学校施設の地域開放を実施する。					
総合計画	基本施策	4	スポーツ活動の支援		主担当部課名	文化スポーツ部 スポーツタウン推進課	
	施策	46	スポーツ活動の普及・促進		事業類型	法定事業・任意事業混在	
	事業種別	その他の事務事業		事業開始年度	昭和52年度～	見直しの裁量	市に事業見直しの裁量あり
根拠法令等		スポーツ基本法、学校教育法、社会教育法、府中市立学校施設使用条例 等					
国土強靱化地域計画		該当なし	交付金・補助金等の申請	該当なし	交付金・補助金等の名称		
対象		市民（在勤・在学者を含む）、府中市社会教育（体育）関係団体他					
事業目標		市民が身近な場所でスポーツ活動ができるよう、学校教育上支障のない範囲で学校施設を活用し、「身近にあるスポーツ環境の場の整備」の推進を図る。					
事業内容		学校、教育委員会及び利用団体との連携により、学校教育に支障のない時間帯において、夏季の学校プールを含め、学校の体育館及び校庭等の施設を活用し、身近にあるスポーツの場として、学校開放運営事業を実施する。					

2 実施計画・実績(指標)

指標名	基準値 (単位)	事業推移					計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の類型(※)							
① 学校開放（体育館・校庭等のスポーツ活動）利用人数	191,755	計画値	192,953	194,152	19,535	196,549	196,549	1	2	3	4	5	6	7	8
	人	実績	327,888	428,201	-	-	-	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
要因の具体的内容	夏季の学校プールの開放を含め、概ね計画どおりに各種事業を実施することができたため、実績値が計画値を上回った。														
		計画値						要因の類型(※)							
		実績						☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
要因の具体的内容															

- (※) 要因の類型
- 1 概ね計画通り実施した

2 市民等のニーズが増加し計画を上回った

3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った

4 市民等のニーズが減少し計画を下回った

5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った

6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった

7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった

8 その他

3 成果(参考情報) 現状分析

	1	2	3	
① 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	1
② 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	1
③ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2

4 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
(事業費)						
当初予算額	18,225,000	20,130,000	20,573,000	31,258,000	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	700,000	0	0	0	0
一般財源	18,225,000	19,430,000	20,573,000	31,258,000	0	0
予算現額	10,322,000	22,141,000	21,181,000	0	0	0
決算額	6,333,697	21,334,352	20,528,785	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	625,218	0	0	0	0
一般財源	6,333,697	20,709,134	20,528,785	0	0	0
執行率	61.4%	96.4%	96.9%	0.0%	0.0%	0.0%
(人件費)						
職員数	1.00	0.95	1.45			
職員人件費	7,834,807	7,674,884	11,569,537			
月額制会計年度任用職員数	0	0	0			
月額制会計年度任用職員人件費	0	0	0			
(間接経費)						
間接経費	289,887	227,084	293,212			
総コスト	14,458,391	29,236,320	32,391,534	0	0	0

5 PDCAサイクルの確認と評価・改善の方針

R 4年度実績 (Do)	R 4年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
身近なところで継続的なスポーツ活動ができるよう、市内のクラブに対し、小・中学校体育館などの開放事業を実施した。 ▼体育館 実施校数 33校 利用クラブ 309クラブ ▼校庭 実施校数 26校 利用クラブ 73クラブ ▼プール 実施校数 2校 延利用人数 1,322人		コロナ禍に当たる令和2年から3年度までの間は、新型コロナウイルス感染症の影響により、事業の実施が難しい状況が続いていたが、withコロナの視点により、必要な感染症対策を行ったことにより、概ね計画通りに、事業を行うことができた。また、一部地域プールの廃止にあわせて、第十中学校に加えて、新たに第十小学校とにおいて学校プール開放を試行実施を開始することができた。



☐ A 重点化・拡大 ☒ B 現状のまま継続 ☐ C 見直し ☐ D 休止・廃止 R 4年度評価に基づく見直し (Action)

R 5年度の具体的な取組 (Plan)	R 5年度の方向性 (Plan)
▼体育館 実施校数 33校 ▼校庭 実施校数 26校 ▼プール 実施校数 2校	引き続き、学校教育に支障のない範囲で開放を実施し、市のスポーツ実施率の向上に向け、団体利用の調整等を図る。また、第十小学校・第十中学校の夏休み期間のプール開放についても継続して実施する。

R 5年度実績 (Do)	R 5年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
▼体育館 実施校数 33校 利用クラブ 303クラブ ▼校庭 実施校数 26校 利用クラブ 67クラブ ▼プール 実施校数 2校 延利用人数 1,603人	コロナ禍を経て、施設の休止なども無かったため、概ね計画どおりに市内の小・中学校全33校で学校教育に支障のない範囲で開放を実施することができた。また、第十小学校・第十中学校の夏休み期間のプール開放を実施し、市のスポーツ実施率の向上を図ることができたが、その利用者数が地域プールと比べて低いことから、引き続き事業の周知を図る必要がある。	



☐ A 重点化・拡大 ☒ B 現状のまま継続 ☐ C 見直し ☐ D 休止・廃止 R 5年度評価に基づく見直し (Action)

R 6年度の具体的な取組 (Plan)	R 6年度の方向性 (Plan)
▼体育館 実施校数 33校 ▼校庭 実施校数 26校 ▼プール 実施校数 2校 (各校20日)	引き続き、学校教育に支障のない範囲で開放を実施し、市のスポーツ実施率の向上に向け、利用団体の調整等を図るとともに、府中第十小学校・府中第十中学校の夏休み期間のプール開放のうち、府中第十小学校については、開放時間を拡大して実施することから、更なる利用者の増加が図られるよう、事業周知、PRに努めていく。

R 7年度における事業の位置付け		事業の位置付けの詳細と今後の方向性
A 重点化・拡大して継続	B	市では学校教育上支障のない範囲で、市立小・中学校施設を身近なスポーツ・レクリエーション活動の場として一般に開放している。今後も、学校、教育委員会、利用団体との連携により、地域の身近なスポーツ活動の場として、夏季の学校プールの地域開放を含む学校開放運営事業を実施していく。
B 現状のまま継続		
1 大幅な見直しは必要ない（右欄に理由を具体的に記載）		
2 見直しには法令等の改正が必須（右欄に法令等の名称を記載）		
3 現状では見直しが不可能（右欄に理由を具体的に記載）		
C 見直して継続	1	
1 見直し・縮小		
2 他事業との整理・統合		
D 休止・廃止等		
1 休止		
		2 廃止
		3 完了

6 構成事業一覧

(単位:円)

	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	R 5年度		R 6年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	50	35	10	1643000	学校開放運営費	20,573,000	20,528,785	31,258,000
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							20,573,000	20,528,785	31,258,000

事務事業評価シート

記載年月	令和6年9月
対象年度	令和 5年度

1 事務事業の概要

事務事業名				総合体育館管理運営事業				事務事業コード		30470100	
概要		総合体育館の管理運営を行う。									
総合計画	基本施策	4	スポーツ活動の支援				主担当部課名		文化スポーツ部 スポーツタウン推進課		
	施策	47	スポーツ環境の整備				事業類型		任意事業		
	事業種別	その他の事務事業		事業開始年度		昭和46年度 ～		見直しの裁量		市に事業見直しの裁量あり	
根拠法令等		スポーツ基本法、府中市体育館条例及び同施行規則									
国土強靱化地域計画		該当なし		交付金・補助金等の申請		該当なし		交付金・補助金等の名称			
対象		市民（在勤・在学、市外在住者を含む）、市内・市外スポーツ団体									
事業目標		市民にスポーツ及びレクリエーションの普及を図り、心身の健康と豊かな市民生活の向上に寄与するとともに、安全で快適なスポーツ環境を整備するため、適切かつ計画的な施設の維持管理等に努め、施設利用者の増加を目指す。									
事業内容		利用者が安全・快適にスポーツ施設を利用できるように施設の管理運営を行うとともに、市民のスポーツ活動の拠点施設として、市民体育大会をはじめとする全市的な大規模なイベントから、比較的小規模なスポーツ教室などの利用に至るまで、多様な市民のスポーツニーズへの対応とともに、体育館利用者のスポーツ活動の支援を図る。									

2 実施計画・実績(指標)

指標名	基準値 (単位)	事業推移					計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の類型(※)							
① 総合体育館の年間利用者数	235,013	計画値	236,482	237,951	239,420	240,889	240,889	1	2	3	4	5	6	7	8
	人	実績	208,932	214,169	-	-	-	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☒
要因の具体的内容	令和5年度実績値は、大会等に伴う団体による貸切利用が減少した一方で、一般公開や教室参加者等の個人利用が増加し、前年度からは5,237人増加した。														
		計画値						要因の類型(※)							
		実績						1	2	3	4	5	6	7	8
								☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	要因の具体的内容														

(※) 要因の類型

- 1 概ね計画通り実施した
2 市民等のニーズが増加し計画を上回った
3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った
4 市民等のニーズが減少し計画を下回った

- 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った
6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった
7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった
8 その他

3 成果(参考情報) 現状分析

	1	2	3	
① 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	1
② 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	1
③ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	1

4 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
(事業費)						
当初予算額	187,207,000	185,390,000	204,037,000	217,843,000	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	42,507,000	47,107,000	33,897,000	36,043,000	0	0
一般財源	144,700,000	138,283,000	170,140,000	181,800,000	0	0
予算現額	184,823,000	200,340,000	204,029,000	0	0	0
決算額	178,875,712	190,726,912	188,899,142	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	25,245,928	45,591,085	33,812,632	0	0	0
一般財源	153,629,784	145,135,827	155,086,510	0	0	0
執行率	96.8%	95.2%	92.6%	0.0%	0.0%	0.0%
(人件費)						
職員数	2.45	2.45	2.20			
職員人件費	19,195,277	19,793,121	17,553,780			
月額制会計年度任用職員数	1.5	1.5	1.5			
月額制会計年度任用職員人件費	4,873,038	4,856,663	4,837,083			
(間接経費)						
間接経費	1,145,067	944,211	748,207			
総コスト	204,089,094	216,320,907	212,038,212	0	0	0

5 PDCAサイクルの確認と評価・改善の方針

R 4年度実績 (Do)	R 4年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
▼一般公開 (個人利用・指導者付一般公開含む) 延利用者数 41,913人 ▼貸切利用 延利用者数 156,578人 ▼自主事業 延利用者数 10,441人	安全で快適に施設を利用できるよう、必要な修繕等の施設整備を行なうとともに、新型コロナウイルス感染症対策を実施し、適切に施設の管理運営を行うことができた。	


☐ A 重点化・拡大 ☒ B 現状のまま継続 ☐ C 見直し ☐ D 休止・廃止 R 4年度評価に基づく見直し (Action)

R 5年度の具体的な取組（Plan）		R 5年度の方向性（Plan）	
一般公開、各種教室や大会など、市民の総合的なスポーツ活動の場として利用できるよう、施設の管理運営に努める。		安全で快適に施設を利用できるよう、老朽化が進む施設の整備等を図り、利用者のスポーツ活動を支援するとともに、適切に施設の管理運営を行う。	
R 5年度実績（Do）		R 5年度評価（Check）	評価内容 B 現状のまま継続
▼一般公開（個人利用・指導者付一般公開含む） 延利用者数 52,346人 ▼貸切利用 延利用者数 150,165人 ▼自主事業 延利用者数 11,658人		安全で快適に施設を利用できるよう、老朽化が進む施設の整備等を図り、利用者のスポーツ活動を支援するとともに、適切に施設の管理運営を行うことができた。 また、利用者人数の増加に向けた取組の一環として、学校法人藤村学園と協働して乳幼児と保護者を対象としたベビトレヨガを1回開催したほか、主に夏休み等の長期休暇期間を中心にジュニア向け短期間教室を開催することで、普段スポーツを実施していない市民が気軽に総合体育館を利用できる機会を創出した。	


☐ A 重点化・拡大 ☒ B 現状のまま継続 ☐ C 見直し ☐ D 休止・廃止 R 5年度評価に基づく見直し (Action)

R 6年度の具体的な取組 (Plan)	R 6年度の方向性 (Plan)
一般公開、各種教室や大会など、市民の総合的なスポーツ活動の場として利用できるよう、施設や設備の修繕を適宜実施しつつ、施設の管理運営に努める。また、自主事業については、引き続き学校法人藤村学園との協働事業実施に向けた調整を実施するとともに、利用者ニーズ等を参考としながら内容の充実を図る。	安全で快適に施設を利用できるよう、老朽化が進む施設の整備等を図り、利用者のスポーツ活動を支援するとともに、適切に施設の管理運営を行う。また、普段スポーツを実施していない市民を対象に、スポーツに興味をもってもらえる環境づくりを目指して、自主事業等について引き続き内容の充実を図る。

R 7年度における事業の位置付け		事業の位置付けの詳細と今後の方向性
A 重点化・拡大して継続	B	第2次府中市スポーツ推進計画に基づき、スポーツの場の整備・充実に向けて、利用者が安全で快適に施設を利用できるよう、移転までの間、必要な改修等を実施し、施設の維持管理に努めていく。
B 現状のまま継続	B	
1 大幅な見直しは必要ない (右欄に理由を具体的に記載)	B	
2 見直しには法令等の改正が必須 (右欄に法令等の名称を記載)		
3 現状では見直しが不可能 (右欄に理由を具体的に記載)		
C 見直して継続	1	
D 休止・廃止等	1	

6 構成事業一覧

(単位:円)

	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	R 5年度		R 6年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	50	35	25	1702000	総合体育館管理運営費 業務運営委託料	30,047,000	30,046,500	30,366,000
2	01	50	35	25	1703000	総合体育館管理運営費 管理委託料	72,519,000	72,454,140	97,528,000
3	01	50	35	25	1704000	総合体育館管理運営費 光熱水費及び燃料費	58,084,000	44,899,418	57,876,000
4	01	50	35	25	1705000	総合体育館管理運営費 諸経費	43,387,000	41,499,084	32,073,000
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							204,037,000	188,899,142	217,843,000

事務事業評価シート

記載年月	令和6年9月
対象年度	令和 5年度

1 事務事業の概要

事務事業名		地域体育館管理運営事業				事務事業コード		30470200			
概要		市内の地域体育館（日吉体育館を含む6館）の管理運営を行う。									
総合計画	基本施策	4	スポーツ活動の支援			主担当部課名		文化スポーツ部 スポーツタウン推進課			
	施策	47	スポーツ環境の整備			事業類型		任意事業			
	事業種別	その他の事務事業		事業開始年度		昭和58年度～		見直しの裁量		市に事業見直しの裁量あり	
根拠法令等		スポーツ基本法、府中市体育館条例及び同施行規則									
国土強靱化地域計画		該当なし		交付金・補助金等の申請		該当なし		交付金・補助金等の名称			
対象		市民（在勤・在学等を含む）、市内スポーツ団体等									
事業目標		市民にスポーツ及びレクリエーションの普及を図り、心身の健康と豊かな市民生活の向上に寄与するとともに、安全で快適なスポーツ環境を整備するため、適切かつ計画的な施設の維持管理等に努め、施設利用者の増加を目指す。									
事業内容		利用者が安全・快適にスポーツ施設を利用できるように施設の管理運営を行うとともに、年齢や体力に合わせた運動を行う「健康づくり教室」を始めとする各種スポーツ教室のほか、地域の関係団体などと連携して「スポーツ・レクリエーション」などのイベントを実施することにより、スポーツを通じた地域住民の交流を図る。									

2 実施計画・実績(指標)

指標名	基準値 (単位)	事業推移					計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の類型(※)							
① 地域体育館等の年間利用者数	225, 809	計画値	227, 220	228, 631	230, 042	231, 454	231, 454	1	2	3	4	5	6	7	8
	人	実績	173, 918	183, 649	-	-	-	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☒
要因の具体的内容	令和5年度は空調調設備設置工事に伴い、押立体育館及び四谷体育館の各体育室を休止する期間があったため、計画値より44,982人下回った。														
		計画値						要因の類型(※)							
		実績						1	2	3	4	5	6	7	8
								☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
要因の具体的内容															

- (※) 要因の類型
- 1 概ね計画通り実施した

2 市民等のニーズが増加し計画を上回った

3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った

4 市民等のニーズが減少し計画を下回った

5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った

6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった

7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった

8 その他

3 成果(参考情報) 現状分析

	1	2	3	
① 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	1
② 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	1
③ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	1

4 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
(事業費)						
当初予算額	111,611,000	117,437,000	128,628,000	157,239,000	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	17,993,000	17,351,000	17,367,000	13,398,000	0	0
一般財源	93,618,000	100,086,000	111,261,000	143,841,000	0	0
予算現額	111,760,000	123,653,000	128,629,000	0	0	0
決算額	109,912,299	115,806,727	121,651,018	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	10,472,648	11,944,181	12,604,314	0	0	0
一般財源	99,439,651	103,862,546	109,046,704	0	0	0
執行率	98.3%	93.7%	94.6%	0.0%	0.0%	0.0%
(人件費)						
職員数	1.95	1.95	1.95			
職員人件費	15,277,874	15,753,709	15,559,032			
月額制会計年度任用職員数	0	0	0			
月額制会計年度任用職員人件費	0	0	0			
(間接経費)						
間接経費	565,279	466,121	394,320			
総コスト	125,755,452	132,026,557	137,604,370	0	0	0

5 PDCAサイクルの確認と評価・改善の方針

R 4年度実績 (Do)	R 4年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
▼一般公開 延利用者数 60,164人 ▼貸切利用 延利用者数 体育室 50,722人・会議室など 35,197人 ▼自主事業 延利用者数 27,835人	安全で快適に施設を利用できるよう、必要な修繕等の施設整備を行なうとともに、新型コロナウイルス感染症対策を実施し、適切に施設の管理運営を行うことができた。	



☐ A 重点化・拡大
 ☒ B 現状のまま継続
 ☐ C 見直し
 ☐ D 休止・廃止
 R 4年度評価に基づく見直し (Action)

R 5年度の具体的な取組 (Plan)	R 5年度の方向性 (Plan)
市民の憩いの場、地域コミュニティの場、スポーツに親しむ場として広く利用できるよう、一般公開や各種教室の開催するとともに、地域体育館運営協議会と連携を図り、施設の管理運営に努める。	安全で快適に施設を利用できるよう、老朽化が進む施設の整備等を図り、利用者のスポーツ活動を支援するとともに、適切に施設の管理運営を行う。

R 5年度実績 (Do)	R 5年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
▼一般公開 延利用者数 64,781人 ▼貸切利用 延利用者数 体育室 57,435人・会議室など 33,869人 ▼自主事業 延利用者数 27,564人	安全で快適に施設を利用できるよう、必要な修繕等の施設整備を行なうとともに適切に施設の管理運営を行うことができた。	



☐ A 重点化・拡大
 ☒ B 現状のまま継続
 ☐ C 見直し
 ☐ D 休止・廃止
 R 5年度評価に基づく見直し (Action)

R 6年度の具体的な取組 (Plan)	R 6年度の方向性 (Plan)
市民の憩いの場、地域コミュニティの場、スポーツに親しむ場として広く利用できるよう、一般公開や各種教室の開催するとともに、地域体育館運営協議会と連携を図り、施設の管理運営に努める。 また、栄町体育館の空調設備設置工事のほか、施設や設備の修繕を適宜実施する。	安全で快適に施設を利用できるよう、老朽化が進む施設の整備等を図り、利用者のスポーツ活動を支援するとともに、適切に施設の管理運営を行う。

R 7年度における事業の位置付け		事業の位置付けの詳細と今後の方向性
A 重点化・拡大して継続		第2次府中市スポーツ推進計画に基づき、スポーツの場の整備・充実に向けて、利用者が安全で快適に施設を利用できるよう、計画的保全等を図るなど、施設の維持管理に努めていく
B 現状のまま継続		
1 大幅な見直しは必要ない（右欄に理由を具体的に記載）		
2 見直しには法令等の改正が必須（右欄に法令等の名称を記載）		
3 現状では見直しが不可能（右欄に理由を具体的に記載）		
C 見直して継続	1 見直し・縮小	1
	2 他事業との整理・統合	
D 休止・廃止等	1 休止	
	2 廃止	
	3 完了	

6 構成事業一覧

(単位:円)

	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	R 5年度		R 6年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	50	35	25	1665000	地域体育館管理運営費 業務運営委託料	72,460,000	72,430,600	96,317,000
2	01	50	35	25	1666000	地域体育館管理運営費 管理委託料	21,810,000	20,848,893	23,161,000
3	01	50	35	25	1667000	地域体育館管理運営費 光熱水費及び燃料費	16,627,000	12,848,776	22,606,000
4	01	50	35	25	1668000	地域体育館管理運営費 諸経費	17,731,000	15,522,749	15,155,000
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							128,628,000	121,651,018	157,239,000

事務事業評価シート

記載年月	令和6年9月
対象年度	令和 5年度

1 事務事業の概要

事務事業名				野球場維持管理事業				事務事業コード		30470300	
概要		府中市民球場、市民第一野球場及び市民第二野球場の管理運営を行う。									
総合計画	基本施策	4	スポーツ活動の支援				主担当部課名		文化スポーツ部 スポーツタウン推進課		
	施策	47	スポーツ環境の整備				事業類型		任意事業		
	事業種別	その他の事務事業		事業開始年度		昭和25年度 ～		見直しの裁量		市に事業見直しの裁量あり	
根拠法令等		スポーツ基本法、府中市体育施設条例及び同施行規則									
国土強靱化地域計画		該当なし		交付金・補助金等の申請		該当なし		交付金・補助金等の名称			
対象		市民（在勤・在学、市外在住者を含む）、市内・市外スポーツ団体									
事業目標		市民の体育及びレクリエーションその他社会体育の振興を図るとともに、安全で快適なスポーツ環境を整備するため、適切かつ計画的な施設の維持管理等に努め、施設利用者の増加を目指す。									
事業内容		利用者が安全・快適にスポーツ施設を利用できるように施設の管理運営を行うとともに、市民球場においては、「するスポーツ」のみならず、「みるスポーツ」や「女子野球タウンの推進」など、様々な視点から施設環境の充実等を図る。									

2 実施計画・実績(指標)

指標名	基準値 (単位)	事業推移					計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の類型(※)							
① 野球場の年間利用者数	132,390	計画値	133,217	134,045	134,872	135,700	135,700	1	2	3	4	5	6	7	8
	人	実績	137,844	148,473	-	-	-	☐	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐
要因の具体的内容	令和5年度実績値は、計画値より14,428人上回った。女子野球タウンに関連した大会の開催やトップチームとの連携により、施設の認知度及び魅力の向上に努めたため、計画値を上回る実績値となった。														
		計画値						要因の類型(※)							
		実績						1	2	3	4	5	6	7	8
								☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
要因の具体的内容															

(※) 要因の類型

- 1 概ね計画通り実施した
- 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った
- 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った
- 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った
- 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った
- 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった
- 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった
- 8 その他

3 成果(参考情報) 現状分析

	1	2	3	
① 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	1
② 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	2
③ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	1

4 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
(事業費)						
当初予算額	67,485,000	76,475,000	84,807,000	107,808,000	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	18,283,000	18,258,000	17,388,000	16,065,000	0	0
一般財源	49,202,000	58,217,000	67,419,000	91,743,000	0	0
予算現額	69,987,000	84,070,000	85,238,000	0	0	0
決算額	66,686,893	76,417,541	81,381,538	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	14,564,397	12,762,864	15,724,758	0	0	0
一般財源	52,122,496	63,654,677	65,656,780	0	0	0
執行率	95.3%	90.9%	95.5%	0.0%	0.0%	0.0%
(人件費)						
職員数	1.85	1.85	1.85			
職員人件費	14,494,393	14,945,826	14,761,133			
月額制会計年度任用職員数	0.1	0.1	0.1			
月額制会計年度任用職員人件費	324,869	323,778	322,472			
(間接経費)						
間接経費	565,279	466,121	394,320			
総コスト	82,071,434	92,153,266	96,859,464	0	0	0

5 PDCAサイクルの確認と評価・改善の方針

R 4年度実績 (Do)	R 4年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
▼市民球場 延利用時間数 1,619時間 延利用者数 37,920人 ▼第一野球場 延利用時間数 4,761時間 延利用者数 62,477人 ▼第二野球場 延利用時間数 3,738時間 延利用者数 37,447人	安全で快適に施設を利用できるよう、必要な修繕等の施設整備を行なうとともに、新型コロナウイルス感染症対策を実施し、適切に施設の管理運営を行うことができた。	


☐ A 重点化・拡大 ☒ B 現状のまま継続 ☐ C 見直し ☐ D 休止・廃止 R 4年度評価に基づく見直し (Action)

R 5年度の具体的な取組（Plan）		R 5年度の方向性（Plan）	
▼市民球場での高校野球東京大会をはじめ、市民体育大会などの各種大会や練習に広く利用できるよう、施設の維持管理に努める。 ▼市民球場外壁等の改修工事や1階トイレ等改修工事等に向けた準備を行う。		安全で快適に施設を利用できるよう、老朽化が進む施設の整備等を図り、利用者のスポーツ活動を支援するとともに、適切に施設の管理運営を行う。 また、市民球場においては、トップチーム等と連携し、女子野球タウン推進に向けた取り組みを進める。	
R 5年度実績（Do）		R 5年度評価（Check）	評価内容 B 現状のまま継続
▼市民球場 延利用時間数 1,619時間 延利用者数 44,016人 ▼第一野球場 延利用時間数 5,006時間 延利用者数 66,426人 ▼第二野球場 延利用時間数 3,789時間 延利用者数 38,031人		安全で快適に施設を利用できるよう、必要な修繕等の施設整備を行うとともに、適切に施設の管理運営を行うことができた。 また、市民球場においては、トップチーム等と連携し、「女子野球タウン推進」に向けた取り組みを進めた。	


☐ A 重点化・拡大 ☒ B 現状のまま継続 ☐ C 見直し ☐ D 休止・廃止 R 5年度評価に基づく見直し (Action)

R 6年度の具体的な取組 (Plan)	R 6年度の方向性 (Plan)
市民球場での高校野球東京大会をはじめ、市民体育大会などの各種大会や練習に広く利用できるよう、施設の維持管理に努める。また、市民球場の人工芝及び2階トイレ改修工事に向けた準備のほか、施設や設備の修繕を適宜実施する。	安全で快適に施設を利用できるよう、老朽化が進む施設の整備等を図り、利用者のスポーツ活動を支援するとともに、適切に施設の管理運営を行う。また、市民球場においては、トップチーム等と連携し、イースタン・リーグの公式戦を開催するなど、「スポーツタウン府中」の発展に寄与する取組を進める。

R 7年度における事業の位置付け		事業の位置付けの詳細と今後の方向性
A 重点化・拡大して継続	B	第2次府中市スポーツ推進計画に基づき、スポーツの場の整備・充実に向けて、利用者が安全で快適に施設を利用できるよう、計画的保全を図るなど、施設の維持管理に努めていく。
B 現状のまま継続	B	第2次府中市スポーツ推進計画に基づき、スポーツの場の整備・充実に向けて、利用者が安全で快適に施設を利用できるよう、計画的保全を図るなど、施設の維持管理に努めていく。
1 大幅な見直しは必要ない（右欄に理由を具体的に記載）	B	第2次府中市スポーツ推進計画に基づき、スポーツの場の整備・充実に向けて、利用者が安全で快適に施設を利用できるよう、計画的保全を図るなど、施設の維持管理に努めていく。
2 見直しには法令等の改正が必須（右欄に法令等の名称を記載）		
3 現状では見直しが不可能（右欄に理由を具体的に記載）		
C 見直して継続	1	第2次府中市スポーツ推進計画に基づき、スポーツの場の整備・充実に向けて、利用者が安全で快適に施設を利用できるよう、計画的保全を図るなど、施設の維持管理に努めていく。
D 休止・廃止等	1	第2次府中市スポーツ推進計画に基づき、スポーツの場の整備・充実に向けて、利用者が安全で快適に施設を利用できるよう、計画的保全を図るなど、施設の維持管理に努めていく。

6 構成事業一覧

(単位:円)

	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	R 5年度		R 6年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	50	35	15	1652000	野球場管理費 管理委託料	58,637,000	57,380,206	65,424,000
2	01	50	35	15	1653000	野球場管理費 光熱水費及び燃料費	19,991,000	16,568,379	31,989,000
3	01	50	35	15	1654000	野球場管理費 諸経費	6,179,000	7,432,953	10,395,000
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							84,807,000	81,381,538	107,808,000

事務事業評価シート

記載年月	令和6年9月
対象年度	令和 5年度

1 事務事業の概要

事 務 事 業 名		市民陸上競技場維持管理事業				事 務 事 業 代 号		30470400	
概 要		市民陸上競技場の管理運営を行う。							
総合計画	基本施策	4	スポーツ活動の支援			主 担 当 部 課 名		文化スポーツ部 スポーツタウン推進課	
	施 策	47	スポーツ環境の整備			事 業 類 型		任意事業	
	事業種別	その他の事務事業		事 業 開 始 年 度		昭和25年度 ～		見 直 し の 裁 量	
根 拠 法 令 等		スポーツ基本法、府中市体育施設条例及び同施行規則							
国土強靱化地域計画		該当なし		交付金・補助金等の申請		該当なし		交付金・補助金等の名称	
対 象		市民（在勤・在学、市外在住者を含む）、市内・市外スポーツ団体							
事 業 目 標		市民の体育及びレクリエーションその他社会体育の振興を図るとともに、安全で快適なスポーツ環境を整備するため、適切かつ計画的な施設の維持管理等に努め、施設利用者の増加を目指す。							
事 業 内 容		利用者が安全・快適にスポーツ施設を利用できるように施設の管理運営を行う。 なお、本施設は、300mトラックの競技場をはじめ、会議室等を有する市民陸上競技場は、市民大会等の各種大会や市内外を問わず、個人や団体に使用されている。							

2 実施計画・実績(指標)

指標名	基準値 (単位)	事業推移					計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の類型(※)							
① 陸上競技場の年間利用者数	73,027	計画値	73,483	73,940	74,396	74,853	74,853	1	2	3	4	5	6	7	8
	人	実績	63,305	71,582	-	-	-	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☒
要因の具体的内容	令和5年度実績値は、計画値より2,358人下回ったものの、利用者ニーズを踏まえ、一般公開の指定日をよりニーズの高い日程に変更したことにより、前年度からは8,277人増加した。														
		計画値						要因の類型(※)							
		実績						☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
要因の具体的内容															

(※) 要因の類型

- 1 概ね計画通り実施した
- 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った
- 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った
- 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った
- 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った
- 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった
- 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった
- 8 その他

3 成果(参考情報) 現状分析

	1	2	3	
① 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	1
② 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	2
③ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	1

4 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
(事業費)						
当初予算額	17,902,000	14,887,000	16,281,000	20,524,000	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	5,868,000	5,864,000	5,869,000	5,132,000	0	0
一般財源	12,034,000	9,023,000	10,412,000	15,392,000	0	0
予算現額	18,327,000	15,652,000	16,281,000	0	0	0
決算額	15,367,081	15,086,577	14,728,877	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	5,058,688	4,649,708	4,748,109	0	0	0
一般財源	10,308,393	10,436,869	9,980,768	0	0	0
執行率	83.8%	96.4%	90.5%	0.0%	0.0%	0.0%
(人件費)						
職員数	1.15	1.15	1.15			
職員人件費	9,010,028	9,290,649	9,175,840			
月額制会計年度任用職員数	0	0	0			
月額制会計年度任用職員人件費	0	0	0			
(間接経費)						
間接経費	333,369	274,891	232,547			
総コスト	24,710,478	24,652,117	24,137,264	0	0	0

5 PDCAサイクルの確認と評価・改善の方針

R 4年度実績 (Do)	R 4年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
▼貸切利用 件数 270件 延利用時間数 1,170時間 延利用者数 25,383人 ▼団体利用 件数 0件 延利用時間数 0時間 延利用者数 0人 ▼個人利用 延利用者数 37,922人	安全で快適に施設を利用できるよう、必要な修繕等の施設整備を行なうとともに、新型コロナウイルス感染症対策を実施し、適切に施設の管理運営を行うことができた。	


☐ A 重点化・拡大 ☒ B 現状のまま継続 ☐ C 見直し ☐ D 休止・廃止 R 4年度評価に基づく見直し (Action)

R 5年度の具体的な取組（Plan）		R 5年度の方向性（Plan）	
身近で気軽にできるスポーツとして、初心者から愛好家まで、健康増進やコミュニケーション振興の場として利用できるよう、施設の維持管理に努める。		安全で快適に施設を利用できるよう、老朽化が進む施設の整備等を図り、利用者のスポーツ活動を支援するとともに、適切に施設の管理運営を行う。	
R 5年度実績（Do）		R 5年度評価（Check）	評価内容 B 現状のまま継続
▼貸切利用 件数 262件 延利用時間数 1,249時間 延利用者数 30,957人 ▼団体利用 件数 0件 延利用時間数 0時間 延利用者数 0人 ▼個人利用 延利用者数 40,625人		安全で快適に施設を利用できるよう、必要な修繕等の施設整備を行うとともに、適切な施設の管理運営に努めた。	


☐ A 重点化・拡大 ☒ B 現状のまま継続 ☐ C 見直し ☐ D 休止・廃止 R 5年度評価に基づく見直し (Action)

R 6年度の具体的な取組 (Plan)	R 6年度の方向性 (Plan)
身近で気軽にできるスポーツとして、初心者から愛好家まで、健康増進やコミュニケーション振興の場として利用できるよう、施設の維持管理に努める。また、陸上競技場トラック及びフィールド維持改修工事を実施し、日本陸上競技連盟による公認を更新するほか、施設や設備の修繕を適宜実施する。	安全で快適な施設を利用できるよう、老朽化が進む施設の整備等を図り、利用者のスポーツ活動を支援するとともに、適切に施設の管理運営を行う。

R 7年度における事業の位置付け		事業の位置付けの詳細と今後の方向性
A 重点化・拡大して継続	B	第2次府中市スポーツ推進計画に基づき、スポーツの場の整備・充実に向けて、利用者が安全で快適に施設を利用できるよう、計画的保全等を図るなど、施設の維持管理に努めていく。
B 現状のまま継続	B	第2次府中市スポーツ推進計画に基づき、スポーツの場の整備・充実に向けて、利用者が安全で快適に施設を利用できるよう、計画的保全等を図るなど、施設の維持管理に努めていく。
1 大幅な見直しは必要ない (右欄に理由を具体的に記載)	B	第2次府中市スポーツ推進計画に基づき、スポーツの場の整備・充実に向けて、利用者が安全で快適に施設を利用できるよう、計画的保全等を図るなど、施設の維持管理に努めていく。
2 見直しには法令等の改正が必須 (右欄に法令等の名称を記載)		
3 現状では見直しが不可能 (右欄に理由を具体的に記載)		
C 見直して継続	1	第2次府中市スポーツ推進計画に基づき、スポーツの場の整備・充実に向けて、利用者が安全で快適に施設を利用できるよう、計画的保全等を図るなど、施設の維持管理に努めていく。
D 休止・廃止等	1	第2次府中市スポーツ推進計画に基づき、スポーツの場の整備・充実に向けて、利用者が安全で快適に施設を利用できるよう、計画的保全等を図るなど、施設の維持管理に努めていく。

6 構成事業一覧

(単位:円)

	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	R 5年度		R 6年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	50	35	15	1655000	市民陸上競技場管理費 管理委託料	9,567,000	9,362,348	8,670,000
2	01	50	35	15	1656000	市民陸上競技場管理費 光熱水費	2,655,000	2,147,334	4,057,000
3	01	50	35	15	1657000	市民陸上競技場管理費 諸経費	4,059,000	3,219,195	7,797,000
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							16,281,000	14,728,877	20,524,000

事務事業評価シート

記載年月	令和6年9月
対象年度	令和 5年度

1 事務事業の概要

事務事業名		庭球場維持管理事業				事務事業コード	30470500
概要		府中市民庭球場ほか13か所の庭球場の管理運営を行う。					
総合計画	基本施策	4	スポーツ活動の支援		主担当部課名	文化スポーツ部 スポーツタウン推進課	
	施策	47	スポーツ環境の整備		事業類型	任意事業	
	事業種別	その他の事務事業		事業開始年度	昭和 3年度 〜		見直しの裁量
根拠法令等		スポーツ基本法、府中市体育施設条例及び同施行規則					
国土強靱化地域計画		該当なし	交付金・補助金等の申請		該当なし	交付金・補助金等の名称	
対象		市民（在勤・在学、市外在住者を含む）、市内・市外スポーツ団体					
事業目標		市民の体育及びレクリエーションその他社会体育の振興を図るとともに、安全で快適なスポーツ環境を整備するため、適切かつ計画的な施設の維持管理等に努め、施設利用者の増加を目指す。					
事業内容		利用者が安全・快適にスポーツ施設を利用できるように施設の管理運営を行う。 なお、市民庭球場、武蔵台・小柳・栄町・平和の森庭球場はナイター利用が可能であるほか、本施設は、クレールコート（武蔵台庭球場）、ハードコート（西府庭球場）及び砂入り人工芝コート（その他12か所）で構成されている。					

2 実施計画・実績(指標)

指標名	基準値 (単位)	事業推移					計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の類型(※)							
① 庭球場の年間利用者数	309,728	計画値	311,664	313,600	315,535	317,471	317,471	1	2	3	4	5	6	7	8
	人	実績	316,081	324,583	-	-	-	☐	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐
要因の具体的内容	令和5年度実績値は、定期的な巡回による不具合の早期発見及び迅速な修理対応等を行い、可能な限り施設利用に支障が無いよう努めたため、計画値より10,983人上回った。														
		計画値						要因の類型(※)							
		実績						1	2	3	4	5	6	7	8
								☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
要因の具体的内容															

- (※) 要因の類型
- 1 概ね計画通り実施した

2 市民等のニーズが増加し計画を上回った

3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った

4 市民等のニーズが減少し計画を下回った

5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った

6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった

7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった

8 その他

3 成果(参考情報) 現状分析

	1	2	3	
① 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	1
② 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	1
③ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	1

4 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
(事業費)						
当初予算額	35,941,000	34,653,000	36,589,000	38,811,000	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	35,744,000	34,653,000	36,589,000	28,020,000	0	0
一般財源	197,000	0	0	10,791,000	0	0
予算現額	35,941,000	35,750,000	36,589,000	0	0	0
決算額	34,226,653	34,239,698	31,708,646	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	34,299,699	34,239,698	31,708,646	0	0	0
一般財源	-73,046	0	0	0	0	0
執行率	95.2%	95.8%	86.7%	0.0%	0.0%	0.0%
(人件費)						
職員数	2.35	2.35	2.35			
職員人件費	18,411,796	18,985,239	18,750,629			
月額制会計年度任用職員数	0.1	0.1	0.1			
月額制会計年度任用職員人件費	324,869	323,778	322,472			
(間接経費)						
間接経費	710,223	585,639	495,428			
総コスト	53,673,542	54,134,353	51,277,175	0	0	0

5 PDCAサイクルの確認と評価・改善の方針

R 4年度実績 (Do)	R 4年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
▼人工芝コート (12か所) 延利用時間 83,040時間 延利用者数 288,507人 ▼ハードコート (1か所) 延利用時間 2,483時間 延利用者数 6,233人 ▼クレーコート (1か所) 延利用時間 5,897時間 延利用者数 21,341人		安全で快適に施設を利用できるよう、必要な修繕等の施設整備を行なうとともに、新型コロナウイルス感染症対策を実施し、適切に施設の管理運営を行うことができた。


☐ A 重点化・拡大 ☒ B 現状のまま継続 ☐ C 見直し ☐ D 休止・廃止 R 4年度評価に基づく見直し (Action)

R 5年度の具体的な取組（Plan）		R 5年度の方向性（Plan）	
初心者から愛好家まで、健康増進や利用者間の親交を深める場として利用できるよう、施設の維持管理に努める。		安全で快適に施設を利用できるよう、老朽化が進む施設の整備等を図り、利用者のスポーツ活動を支援するとともに、適切に施設の管理運営を行う。	
R 5年度実績（Do）		R 5年度評価（Check）	評価内容 B 現状のまま継続
▼人工芝コート（12か所） 延利用時間 84,649時間 延利用者数 295,680人 ▼ハードコート（1か所） 延利用時間 3,976時間 延利用者数 10,474人 ▼クレーコート（1か所） 延利用時間 5,624時間 延利用者数 18,429人		安全で快適に施設を利用できるよう、必要な修繕等を行うとともに適切に施設の管理運営を行うことができた。	


☐ A 重点化・拡大 ☒ B 現状のまま継続 ☐ C 見直し ☐ D 休止・廃止 R 5年度評価に基づく見直し (Action)

R 6年度の具体的な取組 (Plan)	R 6年度の方向性 (Plan)
初心者から愛好家まで、健康増進や利用者間の親交を深める場として利用できるよう、施設の維持管理に努める。 また、栄町庭球場改修工事のほか、施設や設備の修繕を適宜実施する。	安全で快適に施設利用ができるよう、老朽化が進む施設の整備等を図り、利用者のスポーツ活動を支援するとともに、適切に施設の管理運営を行う。

R 7年度における事業の位置付け		事業の位置付けの詳細と今後の方向性
A 重点化・拡大して継続	B	第2次府中市スポーツ推進計画に基づき、スポーツの場の整備・充実に向けて、利用者がより安全で快適に施設を利用できるよう、計画的保全等を図るなど、施設の維持管理に努めていく。
B 現状のまま継続		
1 大幅な見直しは必要ない (右欄に理由を具体的に記載)		
2 見直しには法令等の改正が必須 (右欄に法令等の名称を記載)		
3 現状では見直しが不可能 (右欄に理由を具体的に記載)	1	
C 見直して継続		
1 見直し・縮小		
2 他事業との整理・統合		
D 休止・廃止等		
1 休止		
2 廃止		
3 完了		

6 構成事業一覧

(単位:円)

	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	R 5年度		R 6年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	50	35	15	1658000	庭球場管理費 管理委託料	24,953,000	21,511,951	27,091,000
2	01	50	35	15	1659000	庭球場管理費 光熱水費	5,238,000	4,626,049	6,032,000
3	01	50	35	15	1660000	庭球場管理費 諸経費	6,398,000	5,570,646	5,688,000
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							36,589,000	31,708,646	38,811,000

事務事業評価シート

記載年月	令和6年9月
対象年度	令和 5年度

1 事務事業の概要

事務事業名				運動場維持管理事業				事務事業コード		30470600	
概要		市内のゲートボール場、運動場等の管理・運営を行う。									
総合計画	基本施策	4	スポーツ活動の支援				主担当部課名		文化スポーツ部 スポーツタウン推進課		
	施策	47	スポーツ環境の整備				事業類型		任意事業		
	事業種別	その他の事務事業		事業開始年度		昭和45年度 ～		見直しの裁量		市に事業見直しの裁量あり	
根拠法令等		スポーツ基本法、府中市体育施設条例及び同施行規則									
国土強靱化地域計画		該当なし		交付金・補助金等の申請		該当なし		交付金・補助金等の名称			
対象		市民（在勤・在学等を含む）、市内スポーツ団体等									
事業目標		市民の体育及びレクリエーションその他社会体育の振興を図るとともに、安全で快適なスポーツ環境を整備するため、適切かつ計画的な施設の維持管理等に努め、施設利用者の増加を目指す。									
事業内容		利用者が安全・快適にスポーツ施設を利用できるように施設の管理運営を行う。									

2 実施計画・実績(指標)

指標名	基準値 (単位)	事業推移					計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の類型(※)							
① 運動場の年間利用者数	300, 100	計画値	301, 976	303, 851	305, 727	307, 603	307, 603	1	2	3	4	5	6	7	8
	人	実績	310, 151	315, 329	-	-	-	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
要因の具体的内容	令和5年度実績値は、調布基地跡地暫定運動場などの利用者数が増加したことにより、計画値を5, 178人上回る実績値となった。														
		計画値						要因の類型(※)							
		実績						1	2	3	4	5	6	7	8
要因の具体的内容															

(※) 要因の類型

- 1 概ね計画通り実施した
- 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った
- 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った
- 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った
- 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った
- 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった
- 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった
- 8 その他

3 成果(参考情報) 現状分析

	1	2	3	
① 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	1
② 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	2
③ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2

4 事業費・人件費等の推移

(単位: 円、人)

	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
(事業費)						
当初予算額	30, 307, 000	30, 848, 000	30, 612, 000	31, 591, 000	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	130, 000	152, 000	155, 000	172, 000	0	0
一般財源	30, 177, 000	30, 696, 000	30, 457, 000	31, 419, 000	0	0
予算現額	33, 650, 000	30, 970, 000	30, 634, 000	0	0	0
決算額	28, 695, 640	25, 141, 851	28, 000, 494	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	143, 390	220, 851	172, 149	0	0	0
一般財源	28, 552, 250	24, 921, 000	27, 828, 345	0	0	0
執行率	85. 3%	81. 2%	91. 4%	0. 0%	0. 0%	0. 0%
(人件費)						
職員数	1. 45	1. 45	1. 45			
職員人件費	11, 360, 470	11, 714, 296	11, 569, 537			
月額制会計年度任用職員数	0. 1	0. 1	0. 1			
月額制会計年度任用職員人件費	324, 869	323, 778	322, 472			
(間接経費)						
間接経費	449, 324	370, 506	313, 434			
総コスト	40, 830, 303	37, 550, 431	40, 205, 937	0	0	0

5 PDCAサイクルの確認と評価・改善の方針

R 4年度実績 (Do)	R 4年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
▼是政地区ソフトボール場 延利用時間 837時間 延利用者数 10,852人 ▼是政地区一般野球場 延利用時間 2,411時間 延利用者数 16,050人 ▼調布基地跡地野球場 延利用時間 10,671時間 延利用者数 148,220人 ▼住吉地区野球場 延利用時間 0時間 延利用者数 0人 ▼調布基地跡地サッカー場 延利用時間 6,886時間 延利用者数 83,880人 ▼是政地区運動広場 延利用時間 1,429時間 延利用者数 16,269人 ▼小柳町運動広場 延利用時間 4,129時間 延利用者数 34,880人	安全で快適に施設を利用できるよう、必要な修繕等の施設整備を行なうとともに、新型コロナウイルス感染症対策を実施し、適切に施設の管理運営を行うことができた。	


☐ A 重点化・拡大 ☒ B 現状のまま継続 ☐ C 見直し ☐ D 休止・廃止 R 4年度評価に基づく見直し (Action)

R 5年度の具体的な取組 (Plan)		R 5年度の方向性 (Plan)	
ジュニア世代を中心に、幅広い世代の方がスポーツに親しむ場として広く利用できるよう、施設の維持管理に努める。		安全で快適に施設を利用できるよう、老朽化が進む施設の整備等を図り、利用者のスポーツ活動を支援するとともに、適切に施設の管理運営を行う。	
R 5年度実績 (Do)		R 5年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
(運動場等) ▼是政地区ソフトボール場 延利用時間 881時間 延利用者数 11,432人 ▼是政地区一般野球場 延利用時間 2,325時間 延利用者数 15,437人 ▼調布基地跡地野球場 延利用時間 11,046時間 延利用者数 146,399人 ▼住吉地区野球場 延利用時間 0時間 延利用者数 0人 ▼調布基地跡地サッカー場 延利用時間 6,696時間 延利用者数 91,570人 ▼是政地区運動広場 延利用時間 1,603時間 延利用者数 18,199人 ▼小柳町運動広場 延利用時間 4,172時間 延利用者数 32,292人 (ゲートボール場) ▼ゲートボール場 (3か所) 延利用時間 2,152時間 延利用者数 4,106人		安全で快適に施設を利用できるよう、必要な修繕等の施設整備を行なうとともに、適切に施設の管理運営を行うことができた。なお、住吉地区野球場は、風水害からの復旧の目途がたたないため、引き続き年間を通して休場となった。	


☐ A 重点化・拡大 ☒ B 現状のまま継続 ☐ C 見直し ☐ D 休止・廃止 R 5年度評価に基づく見直し (Action)

R 6年度の具体的な取組 (Plan)	R 6年度の方向性 (Plan)
ジュニア世代を中心に、幅広い世代の方がスポーツに親しむ場として広く利用できるよう、施設や設備の修繕を適宜実施するなど、施設の維持管理に努める。	安全で快適に施設を利用できるよう、老朽化が進む施設の整備等を図り、利用者のスポーツ活動を支援するとともに、適切に施設の管理運営を行う。

R 7年度における事業の位置付け	事業の位置付けの詳細と今後の方向性
A 重点化・拡大して継続 B 現状のまま継続 1 大幅な見直しは必要ない (右欄に理由を具体的に記載) 2 見直しには法令等の改正が必須 (右欄に法令等の名称を記載) 3 現状では見直しが不可能 (右欄に理由を具体的に記載) C 見直して継続 1 見直し・縮小 2 他事業との整理・統合 D 休止・廃止等 1 休止 2 廃止 3 完了	B 1 第2次府中市スポーツ推進計画に基づき、スポーツの場の整備・充実に向けて、利用者が安全で快適に施設を利用できるよう、計画的保全等を図るなど、施設の維持管理に努めていく。

6 構成事業一覧

(単位:円)

	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	R 5年度		R 6年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	50	35	15	1669000	運動場管理費 管理委託料	24,621,000	22,271,017	25,754,000
2	01	50	35	15	1670000	運動場管理費 光熱水費	659,000	658,826	795,000
3	01	50	35	15	1671000	運動場管理費 諸経費	4,908,000	4,673,994	4,529,000
4	01	50	35	15	1672000	ゲートボール場管理費 管理委託料	311,000	307,875	400,000
5	01	50	35	15	1673000	ゲートボール場管理費 光熱水費	34,000	33,816	34,000
6	01	50	35	15	1674000	ゲートボール場管理費 諸経費	79,000	54,966	79,000
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							30,612,000	28,000,494	31,591,000

事務事業評価シート

記載年月	令和6年9月
対象年度	令和 5年度

1 事務事業の概要

事 務 事 業 名		サッカー場維持管理事業				事 務 事 業 代 号		30470700	
概 要		市民サッカー場及び府中朝日フットボールパークの管理運営を行う。							
総合計画	基本施策	4	スポーツ活動の支援			主 担 当 部 課 名		文化スポーツ部 スポーツタウン推進課	
	施 策	47	スポーツ環境の整備			事 業 類 型		任意事業	
	事業種別	その他の事務事業		事 業 開 始 年 度		昭和44年度 ～		見 直 し の 裁 量	
根 拠 法 令 等		スポーツ基本法、府中市体育施設条例及び同施行規則							
国土強靱化地域計画		該当なし		交付金・補助金等の申請		該当なし		交付金・補助金等の名称	
対 象		市民（在勤・在学、市外在住者を含む）、市内・市外スポーツ団体							
事 業 目 標		市民の体育及びレクリエーションその他社会体育の振興を図るとともに、安全で快適なスポーツ環境を整備するため、適切かつ計画的な施設の維持管理等に努め、施設利用者の増加を目指す。							
事 業 内 容		利用者が安全・快適にスポーツ施設を利用できるように施設の管理運営を行う。 なお、府中朝日フットボールパークは、令和元年7月に「JOC認定競技別強化センター」の認定を受け、今後も当面の間、7人制ラグビー日本代表の強化活動を行う拠点施設の一つとして活用される予定であることから、今後も関係団体と連携し、「するスポーツ」のみならず、「みるスポーツ」や「ラグビーのまち府中の推進」など、様々な視点から施設環境の充実等を図る。							

2 実施計画・実績(指標)

指標名	基準値 (単位)	事業推移					計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の類型(※)							
① 市民サッカー場及び府中朝日フットボールパークの年間利用者数	47,698	計画値	47,996	48,294	48,592	48,891	48,891	1	2	3	4	5	6	7	8
	人	実績	173,914	102,214	-	-	-	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☒
要因の具体的内容	令和3年度に府中朝日フットボールパークの一般供用を開始した以降、当該施設の利用者数が増加している（市民サッカー場：46,595人、朝日FP：55,529人）。注記：令和4年度実績値には、調布基地跡地少年サッカー場分が含まれている。														
		計画値						要因の類型(※)							
		実績						1	2	3	4	5	6	7	8
								☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
要因の具体的内容															

(※) 要因の類型

- 1 概ね計画通り実施した
- 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った
- 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った
- 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った
- 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った
- 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった
- 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった
- 8 その他

3 成果(参考情報) 現状分析

	1	2	3	
① 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	1
② 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	2
③ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	1

4 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
(事業費)						
当初予算額	82,438,000	65,613,000	70,371,000	78,424,000	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	3,476,000	4,033,000	4,172,000	4,383,000	0	0
一般財源	78,962,000	61,580,000	66,199,000	74,041,000	0	0
予算現額	76,512,000	65,212,000	69,622,000	0	0	0
決算額	60,065,288	54,795,038	58,458,990	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	3,245,087	3,621,520	4,057,468	0	0	0
一般財源	56,820,201	51,173,518	54,401,522	0	0	0
執行率	78.5%	84.0%	84.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(人件費)						
職員数	1.55	1.55	1.55			
職員人件費	12,143,951	12,522,179	12,367,436			
月額制会計年度任用職員数	0.1	0.1	0.1			
月額制会計年度任用職員人件費	324,869	323,778	322,472			
(間接経費)						
間接経費	478,314	394,410	333,655			
総コスト	73,012,422	68,035,404	71,482,553	0	0	0

5 PDCAサイクルの確認と評価・改善の方針

R 4年度実績 (Do)	R 4年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
▼市民サッカー場 延利用時間 3,345時間 延利用者数 51,934人 ▼府中朝日フットボールパーク 延利用時間 4,109時間 延利用者数 38,100人	安全で快適に施設を利用できるよう、必要な修繕等の施設整備を行なうとともに、新型コロナウイルス感染症対策を実施し、適切に施設の管理運営を行うことができた。	


☐ A 重点化・拡大 ☒ B 現状のまま継続 ☐ C 見直し ☐ D 休止・廃止 R 4年度評価に基づく見直し (Action)

R 5年度の具体的な取組（Plan）					R 5年度の方向性（Plan）	
市民体育大会などで利用できるよう、施設の維持管理に努める。					安全で快適に施設を利用できるよう、老朽化が進む施設の整備等を図り、利用者のスポーツ活動を支援するとともに、適切に施設の管理運営を行う。	
R 5年度実績（Do）					R 5年度評価（Check）	評価内容 B 現状のまま継続
▼市民サッカー場 延利用時間 3,001時間 延利用者数 46,595人 ▼府中朝日フットボールパーク 延利用時間 3,687時間 延利用者数 55,529人					安全で快適に施設を利用できるよう、必要な修繕等の施設整備を行なうとともに、適切に施設の管理運営を行うことができた。	


☐ A 重点化・拡大 ☒ B 現状のまま継続 ☐ C 見直し ☐ D 休止・廃止 R 5年度評価に基づく見直し (Action)

R 6年度の具体的な取組 (Plan)	R 6年度の方向性 (Plan)
安全で快適なスポーツ環境を整備するため、施設や設備の修繕を適宜実施し、市民体育大会などで利用できるよう、施設の維持管理に努める。 また、府中朝日フットボールパークについては、天然芝のグラウンドコンディションを継続的に維持できるよう、これまで蓄積したノウハウを活かし次期維持管理事業者を選定する。	安全で快適に施設を利用できるよう、老朽化が進む施設の整備等を図り、利用者のスポーツ活動を支援するとともに、適切に施設の管理運営を行う。 府中朝日フットボールパークについては、RWC等のレガシーとして、天然芝のグラウンドを次世代に引き継げるよう維持管理するとともに、市の競技連盟の公式大会等での使用を通じ、施設の魅力を高めていく。

R 7年度における事業の位置付け		事業の位置付けの詳細と今後の方向性
A 重点化・拡大して継続	B	第2次スポーツ推進計画に基づき、スポーツの場の整備・充実に向けて、利用者が安全で快適に施設を利用できるよう、計画的保全を図るなど、施設の維持管理に努めていく。
B 現状のまま継続	B	第2次スポーツ推進計画に基づき、スポーツの場の整備・充実に向けて、利用者が安全で快適に施設を利用できるよう、計画的保全を図るなど、施設の維持管理に努めていく。
1 大幅な見直しは必要ない（右欄に理由を具体的に記載）	B	第2次スポーツ推進計画に基づき、スポーツの場の整備・充実に向けて、利用者が安全で快適に施設を利用できるよう、計画的保全を図るなど、施設の維持管理に努めていく。
2 見直しには法令等の改正が必須（右欄に法令等の名称を記載）		
3 現状では見直しが不可能（右欄に理由を具体的に記載）		
C 見直して継続	1	第2次スポーツ推進計画に基づき、スポーツの場の整備・充実に向けて、利用者が安全で快適に施設を利用できるよう、計画的保全を図るなど、施設の維持管理に努めていく。
D 休止・廃止等	1	第2次スポーツ推進計画に基づき、スポーツの場の整備・充実に向けて、利用者が安全で快適に施設を利用できるよう、計画的保全を図るなど、施設の維持管理に努めていく。

6 構成事業一覧

(単位:円)

	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	R 5年度		R 6年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	50	35	15	1678000	サッカー場管理費 管理委託料	52,122,000	41,901,281	65,132,000
2	01	50	35	15	1679000	サッカー場管理費 光熱水費及び燃料費	5,531,000	6,373,791	5,727,000
3	01	50	35	15	1680000	サッカー場管理費 諸経費	12,718,000	10,183,918	7,565,000
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							70,371,000	58,458,990	78,424,000

事務事業評価シート

記載年月	令和6年9月
対象年度	令和 5年度

1 事務事業の概要

事務事業名		プール管理運営事業				事務事業コード	30470800
概要		屋外プール（府中市民プール、美好水遊び広場、府中市民総合プール及び西府プール）の管理運営を行う。					
総合計画	基本施策	4	スポーツ活動の支援		主担当部課名	文化スポーツ部 スポーツタウン推進課	
	施策	47	スポーツ環境の整備		事業類型	任意事業	
	事業種別	その他の事務事業		事業開始年度	昭和28年度 ～		見直しの裁量
根拠法令等		スポーツ基本法、府中市体育施設条例及び同施行規則					
国土強靱化地域計画		該当なし	交付金・補助金等の申請	該当なし	交付金・補助金等の名称		
対象		市民（在勤・在学、市外在住者を含む）等					
事業目標		市民の体育及びレクリエーションその他社会体育の振興を図るとともに、安全で快適なスポーツ環境を整備するため、適切かつ計画的な施設の維持管理等に努め、施設利用者の増加を目指す。					
事業内容		利用者が安全・快適にスポーツ施設を利用できるように施設の管理運営を行う。 なお、府中市民プール及び西府プールについては、平成29年１月に策定した「学校施設の更なる活用と地域プールの見直しに係る基本方針」に基づき、令和8年度を目途に、利用状況を始めとする市民ニーズの動向などを考慮した上で、施設の廃止を含めた検討を行う。					

2 実施計画・実績(指標)

指標名	基準値 (単位)	事業推移					計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の類型(※)							
① 府中市民プール、美好水遊び広場、府中市民総合プール及び西府プールの年間利用者数	102,979	計画値	103,623	104,266	104,910	105,554	105,554	1	2	3	4	5	6	7	8
	人	実績	63,866	89,249	-	-	-	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☒
要因の具体的内容	令和5年度は計画値より実績値が下回ったものの、コロナ禍が明けて、施設の利用ニーズが回復傾向となり、対前年度比では15,000人以上増加した。														
		計画値						要因の類型(※)							
		実績						1	2	3	4	5	6	7	8
要因の具体的内容															

- (※) 要因の類型
- 1 概ね計画通り実施した

2 市民等のニーズが増加し計画を上回った

3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った

4 市民等のニーズが減少し計画を下回った

5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った

6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった

7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった

8 その他

3 成果(参考情報) 現状分析

	1	2	3	
① 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	1
② 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	1
③ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	1

4 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
(事業費)						
当初予算額	140,998,000	110,047,000	107,234,000	110,062,000	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	15,694,000	16,346,000	8,676,000	14,321,000	0	0
一般財源	125,304,000	93,701,000	98,558,000	95,741,000	0	0
予算現額	56,795,000	111,692,000	107,530,000	0	0	0
決算額	35,363,216	106,553,380	106,590,254	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	213,276	18,406,998	13,220,416	0	0	0
一般財源	35,149,940	88,146,382	93,369,838	0	0	0
執行率	62.3%	95.4%	99.1%	0.0%	0.0%	0.0%
(人件費)						
職員数	1.45	1.45	1.45			
職員人件費	11,360,470	11,714,296	11,569,537			
月額制会計年度任用職員数	0.1	0.1	0.1			
月額制会計年度任用職員人件費	324,869	323,778	322,472			
(間接経費)						
間接経費	449,324	370,506	313,434			
総コスト	47,497,879	118,961,960	118,795,697	0	0	0

5 PDCAサイクルの確認と評価・改善の方針

R 4年度実績 (Do)	R 4年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
【開催日数】 ▼総合プール：47日 その他のプール：38日 【利用状況】 ▼総合プール 延利用者数 45,780人 ▼市民プール 延利用者数 7,107人 ▼美好水遊び広場 延利用者数 6,307人 ▼西府プール 延利用者数 4,672人	安全で快適に施設を利用できるよう、必要な修繕等の施設整備を行なうとともに、新型コロナウイルス感染症対策を実施し、適切に施設の管理運営を行うことができた。	



☐ A 重点化・拡大 ☒ B 現状のまま継続 ☐ C 見直し ☐ D 休止・廃止 R 4年度評価に基づく見直し (Action)

R 5年度の具体的な取組（Plan）		R 5年度の方向性（Plan）	
市民の憩いの場、地域コミュニティの場として広く利用できるよう、施設の維持管理に努める。		安全で快適に施設を利用できるよう、老朽化が進む施設の整備等を図り、利用者のスポーツ活動を支援するとともに、適切に施設の管理運営を行う。	
R 5年度実績（Do）		R 5年度評価（Check）	評価内容 B 現状のまま継続
【開催日数】 ▼総合プール：48日　その他のプール：38日 【利用状況】 ▼総合プール　延利用者数　69,114人 ▼市民プール　延利用者数　8,564人 ▼美好水遊び広場　延利用者数　7,069人 ▼西府プール　延利用者数　4,502人		安全で快適に施設を利用できるよう、必要な修繕等の施設整備を行うとともに、熱中症対策として事前予約制とし、適切に施設の管理運営を行うことができた。	



☐ A 重点化・拡大 ☒ B 現状のまま継続 ☐ C 見直し ☐ D 休止・廃止 R 5年度評価に基づく見直し (Action)

R 6年度の具体的な取組 (Plan)	R 6年度の方向性 (Plan)
市民の憩いの場、地域コミュニティの場として広く利用できるよう、施設の管理運営を行うとともに、熱中症対策として引き続き事前予約システムを導入し、屋外プールを開催する。 また、安全で快適なスポーツ環境を整備するため、施設や設備の修繕を適宜実施する。 【開催予定日数】 ▼総合プール：50日 ▼その他の地域プール（3か所）：各38日	安全で快適に施設を利用できるよう、老朽化が進む施設の整備等を図り、利用者のスポーツ活動を支援するとともに、適切に施設の管理運営を行う。

R 7年度における事業の位置付け	事業の位置付けの詳細と今後の方向性
A 重点化・拡大して継続 B 現状のまま継続 1 大幅な見直しは必要ない（右欄に理由を具体的に記載） 2 見直しには法令等の改正が必須（右欄に法令等の名称を記載） 3 現状では見直しが不可能（右欄に理由を具体的に記載） C 見直して継続 1 見直し・縮小 2 他事業との整理・統合 D 休止・廃止等 1 休止 2 廃止 3 完了	B 第2次府中市スポーツ推進計画に基づき、スポーツの場の整備・充実に向けて、利用者が安全で快適に施設を利用できるよう、計画的保全等を図るなど、施設の維持管理に努めていく。また、総合プール及び地域プール（市民、美好水遊び広場、西府）については、今後の市民のプール需要や施設の老朽化の進行具合を踏まえ、今後の施設の在り方について公共施設マネジメントの考え方にに基づき検討する。 1

6 構成事業一覧

(単位:円)

	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	R 5年度		R 6年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	50	35	15	1661000	プール管理運営費 業務運営委託料	68,397,000	67,346,400	70,812,000
2	01	50	35	15	1662000	プール管理運営費 管理委託料	6,734,000	6,527,970	6,687,000
3	01	50	35	15	1663000	プール管理運営費 光熱水費	17,470,000	18,553,961	17,931,000
4	01	50	35	15	1664000	プール管理運営費 諸経費	14,633,000	14,161,923	14,632,000
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							107,234,000	106,590,254	110,062,000

事務事業評価シート

記載年月	令和6年9月
対象年度	令和 5年度

1 事務事業の概要

事務事業名				体育施設整備事業				事務事業コード		30470900	
概要		市内の体育館及び体育施設の改修工事等を行う。									
総合計画	基本施策	4	スポーツ活動の支援				主担当部課名		文化スポーツ部 スポーツタウン推進課		
	施策	47	スポーツ環境の整備				事業類型		任意事業		
	事業種別	主要な事務事業		事業開始年度		昭和25年度 ～		見直しの裁量		市に事業見直しの裁量あり	
根拠法令等		スポーツ基本法、府中市体育施設条例及び同施行規則並びに府中市体育館条例及び同施行規則									
国土強靱化地域計画		該当なし		交付金・補助金等の申請		該当なし		交付金・補助金等の名称			
対象		市民（在勤・在学、市外在住者を含む）、市内・市外スポーツ団体									
事業目標		安全で快適なスポーツ環境を整備するため、適切かつ計画的な施設の維持管理等に努め、施設利用者の増加を目指す。									
事業内容		利用者が安全・快適にスポーツ施設を利用できるように、経年劣化等により、老朽化した施設及び設備の改修を計画的に実施するとともに、公共施設マネジメント推進プランその他関連計画に基づき、老朽化対策を含め、計画的かつ効率的な施設保全手法の検討等を行う。 また、地域体育館の体育室に係る空調設置、市民球場外壁改修工事をはじめ、朝日体育館及び地域プール（4か所）の廃止（解体）等を行う。									

2 実施計画・実績(指標)

指標名	基準値 (単位)	事業推移					計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度									
① 市内体育館（日吉体育館を除く）における空調設備整備施設の割合	16.7	計画値	50	83.3	100	100	100	要因の類型(※)							
								1	2	3	4	5	6	7	8
	%	実 績	50	83.3	-	-	-	☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
要因の具体的内容	計画的に空調設備の整備を図り、整備事業を推進した。														
		計画値						要因の類型(※)							
								1	2	3	4	5	6	7	8
		実 績						☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
要因の具体的内容															

(※) 要因の類型

- 1 概ね計画通り実施した
- 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った
- 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った
- 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った
- 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った
- 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった
- 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった
- 8 その他

3 成果(参考情報) 現状分析

	1	2	3	
① 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	1
② 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	2
③ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	1

4 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
(事業費)						
当初予算額	348,664,000	633,560,000	498,022,000	512,887,000	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	100,000,000	290,000,000	290,000,000	317,000,000	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	228,000,000	289,000,000	169,000,000	159,300,000	0	0
一般財源	20,664,000	54,560,000	39,022,000	36,587,000	0	0
予算現額	350,929,000	551,868,000	498,022,000	0	0	0
決算額	337,165,840	500,690,717	475,470,600	0	0	0
国庫支出金	0	0	9,332,000	0	0	0
都支出金	210,944,000	277,058,000	277,481,000	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	208,000,000	39,663,500	0	0	0
一般財源	126,221,840	15,632,717	148,994,100	0	0	0
執行率	96.1%	90.7%	95.5%	0.0%	0.0%	0.0%
(人件費)						
職員数	1.60	1.60	1.60			
職員人件費	12,535,691	12,926,120	12,766,386			
月額制会計年度任用職員数	0	0	0			
月額制会計年度任用職員人件費	0	0	0			
(間接経費)						
間接経費	463,819	382,458	323,544			
総コスト	350,165,350	513,999,295	488,560,530	0	0	0

5 PDCAサイクルの確認と評価・改善の方針

R 4年度実績 (Do)	R 4年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
▼市民球場バックネット及びライト側通路等改修工事 ▼府中市民陸上競技場2階通路等改修工事 ▼西府庭球場改修工事 ▼地域プール（4プール）及び朝日体育館解体工事 ▼総合体育館雨樋改修工事 ▼本宿及び白糸台体育館空調と設備設置工事 など	施設の廃止に伴い解体工事を実施したが、するスポーツの継続性を確保するため、学校のプール開放など代替事業や近隣施設でスポーツニーズへの対応を図ることができた。また、老朽化が進む体育施設において、施設整備を図ることで、安全で快適なスポーツ環境を整備することができた。	



☐ A 重点化・拡大 ☒ B 現状のまま継続 ☐ C 見直し ☐ D 休止・廃止 R 4年度評価に基づく見直し (Action)

R 5年度の具体的な取組 (Plan)	R 5年度の方向性 (Plan)
▼市民球場外壁等改修工事 ▼市民球場トイレ等改修工事 ▼小柳庭球場夜間照明修繕 ▼総合体育館受変電設備維持改修工事 ▼四谷及び押立体育館空調と設備設置工事 など	全ての利用者が安全・安心かつ快適に利用できるよう、老朽化の進む施設の整備等を図る。

R 5年度実績 (Do)	R 5年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
▼府中市民球場バックネット及びライト側外壁等改修工事 ▼府中市民球場1階トイレ等改修工事及び改修に伴う設備工事 ▼小柳庭球場夜間照明設備更新修繕 ▼四谷及び押立体育館空調と設備設置工事 など	老朽化が進む体育施設において、施設整備を図ることで、安全で快適なスポーツ環境を整備することができた。また、市民球場トイレ等改修工事については、クラウドファンディングを通じて、老若男女を問わず、誰もが使いやすい施設にするための取組を市内外に発信しながら実施することができた。	



☐ A 重点化・拡大 ☒ B 現状のまま継続 ☐ C 見直し ☐ D 休止・廃止 R 5年度評価に基づく見直し (Action)

R 6年度の具体的な取組 (Plan)	R 6年度の方向性 (Plan)
▼府中市民球場人工芝化及び2階トイレ改修に伴う実施設計委託 ▼府中市民陸上競技場トラック及びフィールド維持改修工事 ▼栄町庭球場改修工事 ▼総合体育館昇降機設備維持改修工事 ▼栄町体育館空調と設備設置工事 など	全ての利用者が安全・安心かつ快適に利用できるよう、老朽化の進む施設の整備を図る。

R 7年度における事業の位置付け		事業の位置付けの詳細と今後の方向性
A 重点化・拡大して継続	B	第2次スポーツ推進計画に基づき、スポーツの場の整備・充実に向けて、利用者が安全で快適に施設を利用できるよう、計画的保全等を図るなど、施設の維持管理に努めるとともに、令和6年度に策定される「府中市文化・スポーツ施設配置等適正化計画」に基づき、スポーツ施設全体の将来の在り方を見据え、ハード、ソフト両面からの取組を進めていく。
B 現状のまま継続	B	
1 大幅な見直しは必要ない（右欄に理由を具体的に記載）	B	
2 見直しには法令等の改正が必須（右欄に法令等の名称を記載）		
3 現状では見直しが不可能（右欄に理由を具体的に記載）		
C 見直して継続	1	
D 休止・廃止等	1	

6 構成事業一覧

(単位:円)

	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	R 5年度		R 6年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	50	35	15	1651100	管理用備品整備費			23,714,000
2	01	50	35	15	1688000	体育施設整備事業費 設計委託料			16,120,000
3	01	50	35	15	1690050	体育施設整備事業費 調査委託料			2,690,000
4	01	50	35	15	1691000	体育施設整備事業費 市民陸上競技場改修工事費			142,000,000
5	01	50	35	15	1691010	体育施設整備事業費 市民球場外壁等改修工事費	144,528,000	143,620,400	
6	01	50	35	15	1691700	体育施設整備事業費 市民球場トイレ等改修工事費	161,213,000	161,207,200	
7	01	50	35	15	1691800	体育施設整備事業費 市民球場植栽整備費	11,100,000	7,480,000	
8	01	50	35	15	1693000	体育施設整備事業費 庭球場改修工事費			128,193,000
9	01	50	35	15	1693500	体育施設整備事業費 庭球場照明設備改修工事費	22,800,000	20,570,000	
10	01	50	35	15	1699000	体育施設整備事業費 緊急整備工事費	1,000,000	0	1,000,000
11	01	50	35	25	1717640	体育館整備事業費 総合体育館受変電設備維持改修工事費	5,100,000	5,060,000	
12	01	50	35	25	1717730	体育館整備事業費 総合体育館昇降機設備改修工事費			55,500,000
13	01	50	35	25	1717980	体育館整備事業費 地域体育館空調設備設置工事費	151,281,000	137,533,000	142,670,000
14	01	50	35	25	1729000	体育館整備事業費 緊急整備工事費	1,000,000	0	1,000,000
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							498,022,000	475,470,600	512,887,000

事務事業評価シート

記載年月	令和6年9月
対象年度	令和 5年度

1 事務事業の概要

事務事業名		総合体育館移転関連事業				事務事業コード	30471000
概要		総合体育館の移転に向け、新しい総合体育館に係る整備方針等を策定する。					
総合計画	基本施策	4	スポーツ活動の支援			主担当部課名	文化スポーツ部 スポーツタウン推進課
	施策	47	スポーツ環境の整備			事業類型	任意事業
	事業種別	重点プロジェクト		事業開始年度	令和 3年度 〜		見直しの裁量
根拠法令等		スポーツ基本法、府中市体育館条例及び同施行規則					
国土強靱化地域計画		該当なし	交付金・補助金等の申請	該当なし	交付金・補助金等の名称		
対象		総合体育館					
事業目標		施設の移転に向けて、今後のスポーツ行政における中核施設としての役割や機能等を明確にする。					
事業内容		市民ニーズの調査や分析等を踏まえ、現在の総合体育館に代わる新たなスポーツ拠点として必要な機能の整理や規模等の検討を行う。					

2 実施計画・実績(指標)

指標名	基準値 (単位)	事業推移					計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の類型(※)							
総合体育館の移転に関する ① 市民意見を収集するイベント等の実施回数	5	計画値	8	5	5	-	-	1	2	3	4	5	6	7	8
	回	実績	8	0	-	-	-	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☒
要因の具体的内容	今後の市民意見を収集するイベント等の実施に向けて、これまで収集した意見等を分析する期間と位置付けたことから実績値は皆減となったものの、関係課と連携してスポーツ施設適正配置等の庁内検討等を重点的に実施することができた。														
		計画値						1	2	3	4	5	6	7	8
		実績						☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
要因の具体的内容															

- (※) 要因の類型
- 1 概ね計画通り実施した

2 市民等のニーズが増加し計画を上回った

3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った

4 市民等のニーズが減少し計画を下回った

5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った

6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった

7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった

8 その他

3 成果(参考情報) 現状分析

	1	2	3	
① 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	1
② 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	1
③ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	1

4 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
(事業費)						
当初予算額	0	0	0	18,979,000	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	13,959,000	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	0	5,020,000	0	0
予算現額	0	0	0	0	0	0
決算額	0	0	0	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0	0
執行率						
(人件費)						
職員数	0.00	0.00	0.25			
職員人件費	0	0	1,994,748			
月額制会計年度任用職員数	0	0	0			
月額制会計年度任用職員人件費	0	0	0			
(間接経費)						
間接経費	0	0	50,553			
総コスト	0	0	2,045,301	0	0	0

5 PDCAサイクルの確認と評価・改善の方針

R 4年度実績 (Do)	R 4年度評価 (Check)	評価内容
総合体育館を含めた文化・スポーツ施設の将来のあり方を検討するため、関係課が中心となって実施したワークショップ等に必要な協力を行った。 ▼ワークショップ 2回 ▼オープンハウス 2回 ▼イベントへの出展 4回		ワークショップ等の開催を通じて様々な市民ニーズを把握することができたことから、総合体育館の移転を検討するに当たっての参考とすることができた。


☐ A 重点化・拡大 ☒ B 現状のまま継続 ☐ C 見直し ☐ D 休止・廃止 R 4年度評価に基づく見直し (Action)

R 5年度の具体的な取組（Plan）		R 5年度の方向性（Plan）	
総合体育館を含めた文化・スポーツ施設の将来のあり方を検討するため、関係課が中心となって実施したワークショップ等に必要な協力を行う。 ▼オープンハウス 1回 ▼イベントへの出展 4回		関係課と連携して市民や関係団体との意見交換等を実施する機会を設け、市民ニーズの把握に努める。	
R 5年度実績（Do）		R 5年度評価（Check）	評価内容 B 現状のまま継続
総合体育館を含むスポーツ施設等に関する将来のあり方を関係課と協力して検討する中で、令和5年度はこれまで収集した意見等を分析する期間と位置付けたことから、市民意見を聴取するためのイベント自体は行わなかったものの、市内のスポーツ施設適正配置等について、関係課と連携し調査・検討を行った。		移転に向けた市内のスポーツ施設適正配置等について、関係課とも協力して継続した調査・検討を実施することができた。	


☐ A 重点化・拡大 ☒ B 現状のまま継続 ☐ C 見直し ☐ D 休止・廃止 R 5年度評価に基づく見直し (Action)

R 6年度の具体的な取組 (Plan)	R 6年度の方向性 (Plan)
新総合体育館基本構想の策定に向けて、市民参加の検討協議会を設置し、幅広い年齢層や多様な主体の御意見を伺う中で、多角的な視点から今後の整備に向けて具体的な検討を行う。 ▼新総合体育館基本構想検討協議会 開催数 2回	新総合体育館の整備に向けて、現在、関係各課と連携して文化・スポーツ施設配置等適正化計画の策定を進めており、本計画を踏まえながら、基本構想の策定に向けて、スポーツタウン府中を象徴する施設となるよう、新たに求められる機能や役割などを整理し、今後の整備に向けた検討を進める。

R 7年度における事業の位置付け		事業の位置付けの詳細と今後の方向性
A 重点化・拡大して継続	B	第2次府中市スポーツ推進計画に基づき、スポーツの場の整備・充実に向けて、総合体育館の移転に向けて、従来の機能であった「する」スポーツ利用に加え、「みる」視点として、市の特長・資源であるトップチームの観戦・応援環境の整備を行うとともに、災害時に必要な機能なども考慮しつつ、必要な機能の整理や規模、施設の運営手法などの検討を進めていく。
B 現状のまま継続	B	第2次府中市スポーツ推進計画に基づき、スポーツの場の整備・充実に向けて、総合体育館の移転に向けて、従来の機能であった「する」スポーツ利用に加え、「みる」視点として、市の特長・資源であるトップチームの観戦・応援環境の整備を行うとともに、災害時に必要な機能なども考慮しつつ、必要な機能の整理や規模、施設の運営手法などの検討を進めていく。
1 大幅な見直しは必要ない（右欄に理由を具体的に記載）	B	第2次府中市スポーツ推進計画に基づき、スポーツの場の整備・充実に向けて、総合体育館の移転に向けて、従来の機能であった「する」スポーツ利用に加え、「みる」視点として、市の特長・資源であるトップチームの観戦・応援環境の整備を行うとともに、災害時に必要な機能なども考慮しつつ、必要な機能の整理や規模、施設の運営手法などの検討を進めていく。
2 見直しには法令等の改正が必須（右欄に法令等の名称を記載）		
3 現状では見直しが不可能（右欄に理由を具体的に記載）		
C 見直して継続	1	第2次府中市スポーツ推進計画に基づき、スポーツの場の整備・充実に向けて、総合体育館の移転に向けて、従来の機能であった「する」スポーツ利用に加え、「みる」視点として、市の特長・資源であるトップチームの観戦・応援環境の整備を行うとともに、災害時に必要な機能なども考慮しつつ、必要な機能の整理や規模、施設の運営手法などの検討を進めていく。
D 休止・廃止等	1	第2次府中市スポーツ推進計画に基づき、スポーツの場の整備・充実に向けて、総合体育館の移転に向けて、従来の機能であった「する」スポーツ利用に加え、「みる」視点として、市の特長・資源であるトップチームの観戦・応援環境の整備を行うとともに、災害時に必要な機能なども考慮しつつ、必要な機能の整理や規模、施設の運営手法などの検討を進めていく。

6 構成事業一覧

(単位:円)

	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	R 5年度		R 6年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	50	35	25	1643950	新総合体育館基本構想検討協議会運営費			367,000
2	01	50	35	25	1670500	新総合体育館基本構想策定費			18,612,000
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計									18,979,000

事務事業評価シート

記載年月	令和6年9月
対象年度	令和 5年度

1 事務事業の概要

事務事業名		トップチーム等連携事業				事務事業コード	30480100
概要		トップチーム等との連携を推進し、選手やチームとの交流や応援・観戦機会の提供等を行うほか、スポーツを通したまちづくりに取り組む。					
総合計画	基本施策	4	スポーツ活動の支援		主担当部課名	文化スポーツ部 スポーツタウン推進課	
	施策	48	トップチーム等との連携		事業類型	任意事業	
	事業種別	重点プロジェクト		事業開始年度	令和 4年度 ～	見直しの裁量	市に事業見直しの裁量あり
根拠法令等		スポーツ基本法					
国土強靱化地域計画		該当なし	交付金・補助金等の申請	該当なし	交付金・補助金等の名称		
対象		市民（市外を含む）、市民団体、民間事業者、トップチーム、市職員など					
事業目標		市内を拠点に活動するトップチームを地域資源と捉え、トップチームとの連携と協働により、市内スポーツ人口の裾野の拡大、地域における一体感の醸成のほか、にぎわいの創出を図る。					
事業内容		市民がトップチームやアスリートとの触れ合いや試合での活躍を楽しめる環境を整え、それらの機会を通じ、スポーツの振興やスポーツの力をいかしたまちづくりを進めるため、市内を活動拠点とする6つのトップチーム等と連携し、次に掲げる取り組みを行う。 ▼スポーツの観戦・応援機会の充実（パブリックビューイングの実施など） ▼市内トップチーム等との連携・交流イベントの開催（ボールふれあいフェスタなど） ▼近隣市との連携、スポーツを通じた府中市の魅力発信（啓発物品等を製作・PR）など ※6つのトップチーム等：FC東京（サッカー）、東芝ブレイブルーパス東京（ラグビー）、東京サントリーサンゴリアス（ラグビー）、アルパルク東京（バスケットボール）、府中アスレティックFC（フットサル）、読売ジャイアンツ女子チーム（野球）					

2 実施計画・実績(指標)

指標名	基準値 (単位)	事業推移					計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の類型(※)							
① 市内トップチーム等と連携し実施した事業数	50	計画値	50	57	63	69	69	1	2	3	4	5	6	7	8
	件	実 績	50	90	-	-	-	☐	☒	☒	☐	☐	☐	☐	☒
要因の具体的内容	トップチーム連絡会を中心とした連携体制も充実したほか、庁内各課における連携が大きく進んだため														
		計画値						要因の類型(※)							
		実 績						1	2	3	4	5	6	7	8
								☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
要因の具体的内容															

- (※) 要因の類型
- 1 概ね計画通り実施した
- 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った
- 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った
- 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った
- 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った
- 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった
- 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった
- 8 その他

3 成果(参考情報) 現状分析

	1	2	3	
① 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	1
② 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	1
③ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	1

4 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
(事業費)						
当初予算額	208,763,000	24,192,000	29,037,000	27,006,000	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	101,474,000	6,200,000	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	67,614,000	0	3,900,000	0	0	0
一般財源	39,675,000	17,992,000	25,137,000	27,006,000	0	0
予算現額	78,763,000	23,147,000	28,657,000	0	0	0
決算額	69,890,445	22,588,333	27,999,153	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	31,317,772	6,848,000	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	20,200,000	0	4,466,000	0	0	0
一般財源	18,372,673	15,740,333	23,533,153	0	0	0
執行率	88.7%	97.6%	97.7%	0.0%	0.0%	0.0%
(人件費)						
職員数	12.09	2.59	2.59			
職員人件費	94,705,618	20,924,157	20,665,587			
月額制会計年度任用職員数	0	0	0			
月額制会計年度任用職員人件費	0	0	0			
(間接経費)						
間接経費	577,666	619,103	523,738			
総コスト	165,173,729	44,131,593	49,188,478	0	0	0

5 PDCAサイクルの確認と評価・改善の方針

R 4年度実績 (Do)	R 4年度評価 (Check)	評価内容 D 休止・廃止等
▼ボールふれあいフェスタ 参加者数 1,673人 ▼ラグビーのまち府中デー 参加者数 1,000人 ▼パブリックビューイング (サッカー) 事業数1件 参加者数 400人 ▼パブリックビューイング (ラグビー) 事業数3件 参加者数 延600人 ▼その他 各トップチームの試合 (ホームゲーム) への市民無料招待やバナーフラッグ等の掲出によるチームのPR、またトップチーム連絡会を2回開催し、情報交換・共有を行った。	6つのトップチーム全てが参加するボールふれあいフェスタを、会場を中心市街地 (けやき並木通り) に移して開催したほか、ラグビー日本代表戦・サッカーワールドカップのパブリックビューイングをけやき並木通りで行い、多くの市民にスポーツに触れる機会を提供するとともに、賑わいの創出を図ることができた。また、各トップチームと連携したホームゲームの市民無料招待や、ラグビー日本代表会館の市民公開を行い、「みるスポーツ」の機会を創出することができた。そのほか、けやき並木通りへのトップチームのバナーフラッグ掲出、183FUCHU FAN ZONEでの関連展示、駅前商業施設「くるる」大型ビジョンでの動画放映等を実施し、気運を盛り上げることができた。更に、トップチーム連絡会を開催し、市の事業への協力依頼や情報交換などを行うことができた。	



☐ A 重点化・拡大 ☒ B 現状のまま継続 ☐ C 見直し ☐ D 休止・廃止 R 4年度評価に基づく見直し (Action)

R 5年度の具体的な取組 (Plan)	R 5年度の方向性 (Plan)
▼ボールふれあいフェスタ 参加者数 1,800人 ▼ラグビーのまち府中デー 参加者数 1,000人 ▼パブリックビューイング 事業数5件 参加者数 延1,000人 ▼その他 各トップチームの試合（ホームゲーム）への市民無料招待やバナーフラッグ等の掲出によるチームのPRのほか、SNSを開設し、タイムリーに情報発信し、イベントの集客やスポーツタウン府中の魅力発信につなげる。	トップチーム連絡会を中心に引き続き、トップチームと連携して、各イベントを実施するとともに、その内容の充実を図るほか、これまでの取組を整理し、新たな連携事業の実施に向けた検討を進める。

R 5年度実績 (Do)	R 5年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
▼ボールふれあいフェスタ 雨天中止 ▼ラグビーのまち府中デー 参加者 700人 ▼パブリックビューイング 事業数 5件 参加者 延1,724人 ▼ラグビー日本代表報告会 参加者 3,000人 ▼その他 各トップチームの試合（ホームゲーム）への市民無料招待、スポーツ体験イベントの開催、バナーフラッグ等の掲出によるPR、公式Xによる情報発信、庁内各課で実施する事業のPR協力及びイベント等への参加など。	ボールふれあいフェスタは雨天中止となったものの、計画した事業は概ね着実に実施したほか、関係課も含めた連携事業数は大きく増加した。 ラグビーやバスケットボールの日本代表戦などのパブリックビューイングや、中心市街地におけるシティードレッシングの充実などにより、スポーツの気運醸成や地域の活性化を図ることができた。また、学校訪問事業など、子どもたちへのアプローチを核とした新たな連携プロジェクトの立上げに向け、トップチーム連絡会において協議を進め、令和6年度からの事業開始につなげることができた。 事業数が大幅に増えたことに加え、新たな連携プロジェクトも始まることから、今後は各取組の実施状況の丁寧なフォローアップや、各チームとの緊密な関係性の維持が求められる。	



☒ A 重点化・拡大 ☐ B 現状のまま継続 ☐ C 見直し ☐ D 休止・廃止 R 5年度評価に基づく見直し (Action)

R 6年度の具体的な取組 (Plan)	R 6年度の方向性 (Plan)
トップチーム等連携プロジェクト「FUCHU-NEXT」に基づく各種事業の実施 ▼NEXT Generation (教育・次世代支援) 全6チームによる学校訪問型事業の実施 ▼NEXT Social Inclusion (社会的包摂) 福祉保健部門と連携した障害者向けスポーツ教室の実施協力など ▼NEXT Promotion (プロモーション) ボールふれあいフェスタ、ラグビーのまち府中デーをはじめとする体験型イベントの実施、パブリックビューイングや各チームの試合への市民招待による「みる」スポーツの機会提供、バナーフラッグの掲出等によるシティドレッシング、公式Xによる情報発信など	トップチーム連絡会を中心として、新たな連携プロジェクト「FUCHU-NEXT」を開始する。 従前から実施している事業を継続して実施するほか、NEXT Generation (学校訪問型事業) を重点項目に位置づけ、事業の進捗等をフォローアップしていく。 また、NEXT Social Inclusion、NEXT Promotionの分野についても事業の充実を図れるよう、各チームとの調整を進める。

R 7年度における事業の位置付け		事業の位置付けの詳細と今後の方向性
A 重点化・拡大して継続		B
B 現状のまま継続		
1 大幅な見直しは必要ない（右欄に理由を具体的に記載）		
2 見直しには法令等の改正が必須（右欄に法令等の名称を記載）		
3 現状では見直しが不可能（右欄に理由を具体的に記載）		
C 見直して継続	1 見直し・縮小	1
	2 他事業との整理・統合	
D 休止・廃止等	1 休止	
	2 廃止	
	3 完了	

6 構成事業一覧

(単位:円)

	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	R 5年度		R 6年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	50	35	10	0148900	ラグビーのまち府中推進事業費	18,048,000	17,165,277	13,489,000
2	01	50	35	10	1643110	トップチーム等連携事業費	10,989,000	9,994,422	12,667,000
3	01	50	35	10	1646100	負担金 府中調布三鷹ラグビー連携協議会	0	839,454	850,000
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							29,037,000	27,999,153	27,006,000